令和6年産米

JAグリーン近江

栽培ガイドライン
生産資材申込書



申込書の提出期日

令和6年1月15日まで

経営理念

私たちは、人と自然とのかかわりを大切にし
食を守り、地域に愛されるJAグリーン近江をめざします。

グリーン近江農業協同組合



耕そう、大地と地域のみらい。JAグループ

発行：グリーン近江農業協同組合
監修：滋賀県東近江農業農村振興事務所農産普及課

農業情報配信中!
ええやん農業!
営農経済事業部
公式YouTubeチャンネル

【はじめに】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大から４年が経過しました。コロナ感染症は第５類へ移行され、移動制限も緩和されて、全国的に人の往来も増加しており、経済への影響は少しずつ回復傾向にあります。

農業環境においても、農業人口の減少や少子高齢化、担い手不足は依然として進んでいます。

また、2022年に発生したロシアによるウクライナ侵攻や円安の影響は農業資材全般や燃料の価格高騰等を招きました。このことは、農家組合員やJAそれぞれの活動だけでは克服することが困難な状況に直面しています。

一方、デジタル化（スマート農業）、地球温暖化（沸騰化）による自然災害の頻発、SDGsをはじめとした持続可能な社会実現への潮流（みどりの戦略）などさらなる変化への対応も必要となっています。このような時代にあって、いかにして地域農業の持続性を高め、未来に向けたチャレンジ（試行）によって新時代を切り拓いていくかが求められています。

近年は、度重なる異常気象（豪雨や長雨・台風の襲来・夏の酷暑・日照不足等）により、水稲を始めとした農作物の品質や収量に大きな影響を受けています。令和５年産水稲においても、出穂期以降の夏の酷暑の影響で登熟期の前後半に渡ってお米の品質を左右するデンプンの充実が阻害され、乳白粒・背白粒・基部未熟粒といったお米が大量に発生しており、品質・収量等の低下を招きました。そのような気象変動の中でも高品質なお米や収量増加に向けての取り組みは、ほ場の状態（地力）に併せた土づくりとして【有機物（牛糞堆肥など）の施用】・【深耕（15cm以上)】・【土づくり肥料（とれ太郎など）の施用】などの基本技術の励行や出穂期以降（登熟期）の稲体の活力低下を防ぐ対策として中間追肥（穂肥や止葉期追肥）など水稲の生育に対応した施肥技術を実践することが重要となります。

また、JAの販売戦略として、「みずかがみ」や「きらみずき（令和６年産デビュー）」といった高温耐性をもった品種の作付け拡大、各地域の特別栽培米・ブランド米の強化や事前契約の徹底を継続して行い、実需者との結びつきをより深め安定的な流通確保に努めてまいります。

農業を取り巻く環境が目まぐるしく変化する昨今ですが、ガイドラインを参考に基本技術を励行し、所得増大に向けて栽培頂きますようお願い申し上げます。また、令和５年度から令和７年度の３年間は、「地域農業戦略Ⅷ」の下、農家組合員の所得増大「農業生産力の向上」・農業生産の拡大「生産基盤体制の強化」・地域の活性化「農的関係人口の拡充」の３つを重点戦略とし、実践・検証・横展開を通じて『組合員とともに、持続可能な地域農業づくり』を農家組合員の皆様と共に展開してまいりますので、今後ともご理解・ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

目　次

◆需要に応える産地・求められる産地…… P１
◆令和６年産米出荷奨励一覧…… P２
◆ガイドラインに沿った栽培で育苗施設の効率化運営へ…… P３
◆収量・品質向上対策～気象変動に対応した米づくり～重点対策…… P４、５
◆良質な米づくりは土づくりから目指せ!!すっきりとした稲姿 …… P６
◆水田の地力の実態は　土壌診断に応じた土づくりと施肥コスト削減…… P７
◆土づくりのポイント①有機物の施用　土づくりのポイント②深耕…… P８
◆土づくりのポイント③土づくり肥料の施用…… P９
◆育苗期～生育期にかけて微量要素資材投入で『元気な稲』づくりをしましょう!! …… P10
◆統一版特別栽培米『みずかがみ』推奨ガイドライン…… P11
◆統一版特別栽培米『コシヒカリ』・『秋の詩』推奨ガイドライン…… P12
◆一般栽培米推奨ガイドライン…… P13
◆種子消毒・育苗培土・水稲肥料成分表…… P14
◆肥料・農薬商品一覧…… P15、16
◆初中期一発除草剤の特徴…… P17
◆雑草防除体系…… P18
◆除草剤の特徴…… P19
◆水田の主な雑草　ややこしい雑草の見分け方…… P20、21
◆除草剤の上手な使い方…… P22
◆イネ縞葉枯病県内にて拡大傾向。広域での対策を！ …… P23
◆水稲病害虫判定シート…… P24、25
◆所得増大に向けての取組　令和６年産米　肥料・農薬予約申込…… P26

地域農業戦略Ⅷ―目指す姿と重点戦略―

JAグリーン近江

基本方針（目指す姿）

『組合員とともに、持続可能な地域農業づくり』

～みんながみんなともっとコミュニケーション～

JA 自己改革基本目標

- 農家組合員の所得増大
- 農業生産の拡大
- 地域の活性化

―― コミュニケーション ――

地域・組合員・JA の相互理解により
力を結集して現状打破・現状変化を果たしましょう！

－戦略－ 農業生産力の向上

重点項目

- ○ 地域に応じた生産技術の確立とスマート農業の取り組み
- ○ 有機栽培技術の導入検討とみどりの食料システム戦略への対応
- ○ 特産や畜産の地域に応じた生産支援



－戦略－ 生産基盤体制の強化

重点項目

- ○ 購買、販売、施設をはじめとした農業インフラとしてのJA機能の充実
- ○ 農地利用の効率化とベストミックスに向けた提案
- ○ 多様な担い手の連携、生産体制の強化



－戦略－ 農的関係人口の拡充

重点項目

- ○ 担い手の後継者対策の進展や雇用の展開
- ○ 准組合員・地域住民・都市住民・消費者の農業への理解促進
- ○ 農村RMOなどの地域共生社会づくりに対する関わり強化



地域農業戦略 ― 目指す先の姿 ―

JAグリーン近江

五方よし

生産者
- 地域資源や特性を活かした生産活動による、安定的な農業の展開
- 後継者、労働力を確保し、安心できる農業生産の展開
- トータルコストを削減し、農業所得の確保

未来
- 農村次世代の不安解消
- 国産農産物の安定生産による食料安全保障と国消国産の達成

地域
- 組合員組織の活動による地域貢献
- 地域特産品による地域活性化
- 地域雇用による半農半Xの実現

環境
- 減農薬、減化学肥料や有機栽培の展開により、地球への負荷軽減と地域環境の保全
- 持続的な圃場環境の維持の達成から、減災など安心できる機能の発揮

消費者
- 安全、新鮮で環境負荷の少ない地域農産物の購入
- 「農」ある地域のイベント充実による、安心できる農産物の購入

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

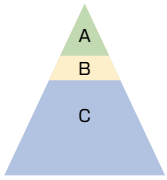


■需要に応える産地・求められる産地
～安定した生産と高品質米生産～

異常気象による品質低下は近年顕著になり、高品質米を提供する産地として様々な課題に直面しています。令和５年産においては高温の影響を強く受け、品質・収量ともに前年を下回る結果となりました。実需者から求められる産地として継続して応えるため高いレベルでの品質の安定と収量の確保が必要です。

また、実需に合わせた作付け計画を行い、需要に応える産地・求められる産地として安定した生産と高品質を継続し、安定販売に繋げていきます。

令和6年産 きらみずき 滋賀県産近江米 の取り扱い

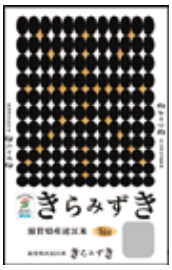


★★★ A 「オーガニック栽培米」・・JAS有機・転換期間中含む

★★ B 「栽培期間中：化学合成農薬・化学肥料　不使用栽培　米」

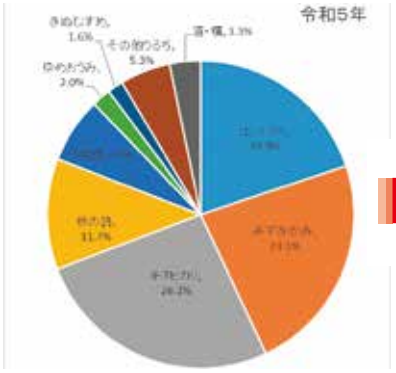
★ C 「滋賀県指定栽培米」：化学肥料（窒素成分）や殺虫・殺菌剤（化学合成農薬）を使用しない栽培



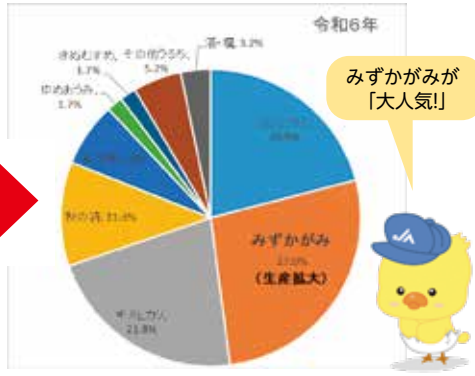


需要に応じた生産販売

出荷契約品種比率



実需者要望品種比率



実需、結びつき販売先

・**各生協**：コープしが他７生協
・**量販店**：平和堂、百貨店など
　ドラッグストア・デリカ（弁当）
・**地域内流通**：直売所・道の駅
　・学校給食など





実需者の要望と契約数量を基に、早期に契約を結び、安定販売を目指します!!

令和6年産

JAグリーン近江の推奨品種

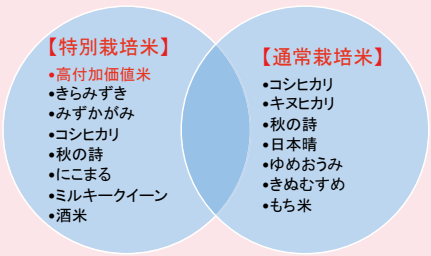
品種別販売（需要）状況

●みずかがみ：滋賀のブランド米として、更に安定した品質と生産拡大が求められる。【高品質米として評価】
●コシヒカリ：主要銘柄として需要も多く安定した品質と生産が求められる。
●キヌヒカリ：主食・業務等多用途に需要があり一定量の安定した生産が必要。
●秋　の　詩：量販店・生協との結びつき商品として要望があり安定した生産が必要。
●日　本　晴：業務・酒造用かけ米等の一定量需要がある。
●ゆめおうみ・にこまる・きぬむすめ：業務用（デリカ 弁当）、生協との結びつき商品として拡大が求められている。
●酒　　米：「滋賀の地酒」でGI認証取得。日本酒が国内外から求められており生産拡大が求められている。

高付加価値米
高品質・良食味米「プレミアム88、セレクト」
魚のゆりかご水田米　　有機JAS米
G－GAP米　J－GAP米

特別栽培米
減農薬・減化学肥料栽培・環境に配慮した取り組み等により結びつき販売へと繋げます。

通常栽培米　業務用等など幅広い需要に対応し、有利販売を行います。



令和6年産米出荷米奨励　一覧

早期に実需者との結びつきを行い有利販売に繋げるため、出荷契約の履行と出荷契約数量の確保、より精度の高い数量を把握するため新しい「スクラム契約」を実施いたします。

【スクラム契約】 NEW！

単位:円／俵(税込)

精算項目	品種	品質	[支払時期:令和7年2月] 出荷契約加算	支払い基準
共同計算	全品種	★JA米	＊300	対象数量は全品種（JA米）とし、農産物検査で１～３等に格付けされたもの（水田活用米穀除く） 【地場出荷：JA米の１～３等が対象】 【施設出荷：売渡数量が対象】 **加算金は全品種の出荷契約数量に対して出荷実績が【90%以上となる場合に出荷契約数量の110%まで】の範囲を対象にお支払いします。**

【特別栽培米奨励】

単位:円／俵(税込)

精算項目	品種	品質	[支払時期:令和７年２月] 出荷米奨励金　１等	支払い基準
共同計算	コシヒカリ	プレミアム88	＊ 1,000	グリーン近江統一版「特別栽培米ガイドライン」による栽培、及び地域部会の特色ある取り組み（JA米）であることが確認されかつ以下の等級及び数量が対象です。 【地場：特別栽培米の１等が対象】 【施設：特別栽培米の売渡数量が対象】 プレミア88：整粒80%、食味80点以上 セレクト：整粒80%、食味75点以降 注)プレミア88・セレクトは地場出荷が対象です。
		特別栽培米	＊ 200	
	みずかがみ	プレミアム88	＊ 1,200	
		セレクト	＊ 600	
		特別栽培米	＊ 250	
	秋の詩 ミルキークイーン にこまる	特別栽培米	＊ 200	

【持込奨励(還元)】

単位:円／俵(税込)

精算項目	品種	対象	[支払時期:令和7年２月] 持込奨励(還元)	支払い基準
共同計算	全品種	水田活用米穀以外	100	地場検査場へ持込みをされ、農産物検査で１等～3等に格付けされたものが対象です。

【きらみずき取組奨励】

単位:円／俵(税込)

精算項目	品種	品質	[支払時期:令和6年12月] 取組奨励	精算内容	最終精算時期
早期精算	きらみずき	滋賀県指定栽培基準以上	＊　500	概算金+精算金+各奨励	令和６年12月

※上記＊は消費税軽減税率対象（８%）です。

○上記 ★印　JA米とは、種子更新・栽培管理日誌・GAP記帳を行い、農産物検査で１等～３等に格付けされたものです。
○当該年産11月末までの出荷数量を対象としますが、需給動向を鑑み変更することがあります。

【各種精算】
○共同計算:従来の年間を通した販売代金をプールし、精算支払いを行います。　【最終精算時期　令和８年 ３月】
○早期精算:生産部会(結びつき品種)に限定して実施いたします。　【精算時期　令和６年12月】

令和5年産の価格動向と農家所得の確保について

新型コロナウイルスが５類感染症へ移行され、国内の業務用米の需要が増加し、需給環境の目安となる民間在庫数量も200万tを下まわり、需給は締まりをみせており価格水準は上がってきています。しかしながら、前年産の古米在庫も一定量流通することからコロナ流行前の価格水準まで回復することは厳しい状況となっています。
このような状況ではありますが、令和５年産米概算金価格については前年産と比べて1,400円～1,900円/俵の値上げを実施いたしました。JAグリーン近江の販売として、事前契約（結びつき米）や地域内流通の拡充を図り、実需者の要望をもとに安定した品質と数量を確保し、農家所得の増大に努めて参ります。

産米集荷用パレット・フレコンの返却について（お願い）

産米検査搬入・出荷用に使用いただいております貸出パレットおよびフレコンについては、当JAへの搬入・出荷用として使用いただき、異なる使用は厳禁とします。JAとして各生産者への受渡数量を把握させていただいておりますので、残ったパレット・フレコンは必ずご返却いただきますようお願いいたします。
産米集荷後に返却のない場合　パレット　【紛失：9,000円/１枚　破損：7,000円/１枚を請求させていただきます】
フレコン　【紛失　2,550円/１枚　請求させていただきます】



ガイドラインに沿った栽培で育苗施設の効率運営へ！

現時点での育苗施設取扱品種をご案内いたします。育苗施設の取扱品種等の決定については1月頃にご案内いたします。

令和6年度も育苗施設利用者の方に「特別栽培米」にお取り組みいただけるよう、全品種・全苗種を温湯消毒で対応致します。

育苗センター

◆令和６年産米育苗取扱一覧（案）

品種名	田植予定日	苗　種		
		発芽苗	硬化苗	密苗（発芽）
みずかがみ	４月末～５月上旬	●	●	●（指定日）
コシヒカリ	５月中旬～下旬	●	●	×
キヌヒカリ	５月中旬～下旬	●	●	×
秋の詩	４月末～５月中旬	●	●	×
日本晴	４月末～５月中旬	●	●	×
NEW きらみずき	５月中旬	●（指定日）	×	×



※令和6年産から新品種きらみずきの発芽苗対応を致します。（引取日指定）

※育苗施設で取り扱うきらみずきの発芽苗はオーガニック栽培には使用できません。

※密苗についても引取日を指定させていただきます。

※田植予定日は、硬化苗の引渡予定日（除：発芽苗のみ対応品種）を示しております。

※過積載にご注意下さい。

（例）　軽トラの場合　発芽苗1枚5kgなので、70枚までの積載です。



苗種類

発 芽 苗 ： 芽出し直後の苗で、田植えまで17日前後の育苗管理が必要です。

硬 化 苗 ： すぐに田植えが出来る苗です。

密　　苗 ： 育苗センターにおいては発芽苗のみの対応となりますが、枚数を減らしながら植えられますので大変省力的です。
また田植日は、発芽出荷日より14日～17日が目安です。収量の差は見られません。（10a当たり10枚）
JAグリーン近江の密苗は、乾籾約250g撒きとなっており、一般的な田植え機でも掻き取り量の調整で使用が可能な機種もあります。

注：一般苗よりも播種量が多いため、生育期間が短くなったり、育苗期間が長くなると、いもち病が発生する可能性があります。

収量・品質向上対策
～気象変動に対応した米づくり～

■令和５年産の米の収量・品質状況

・気象変動（高温・台風・豪雨・日照不足など）の影響により、管内の収量品質が近年にない不安定な状況に陥っています。

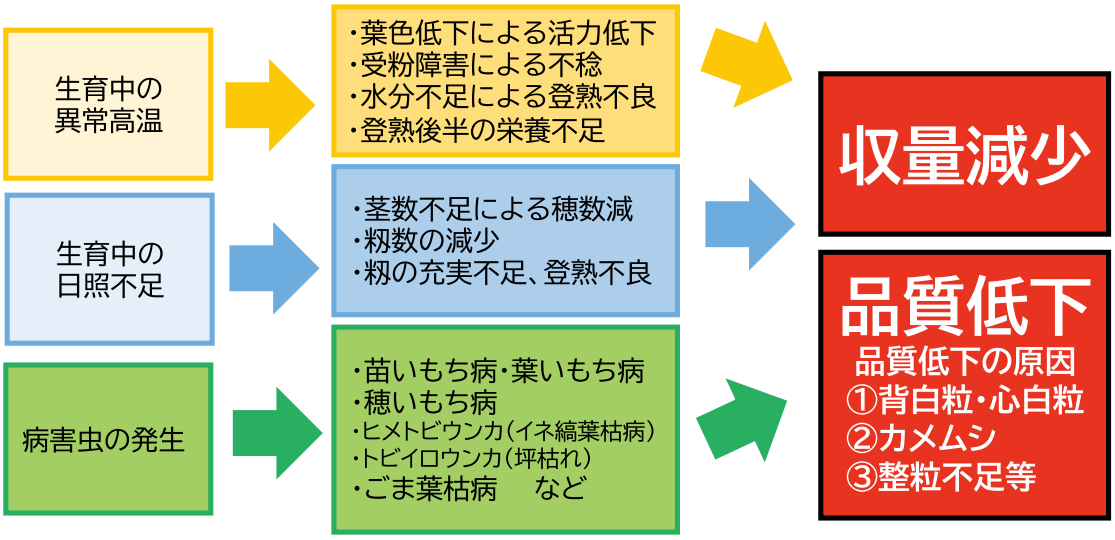
※栽培管理を見直した米づくりを実践しましょう！

・収量の聞き取り状況：平均6～7俵／10a　　少ない生産者2～3俵／10a

・品質状況（１等比率10/18現在）：みずかがみ89%、コシヒカリ48%、キヌヒカリ38%、日本晴46%、秋の詩44%　下位等級原因：基部未熟粒、背白粒、心白粒、茶米

【滋賀県作況指数：97（10/13現在）】

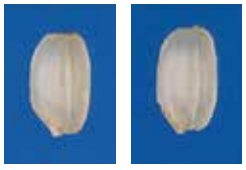
■収量・品質低下の原因は？



■品質低下の原因は？

登熟期間の高温や日照不足などの気象変動により、次のようなお米が多く発生し、品質低下となります。

乳白粒・心白粒

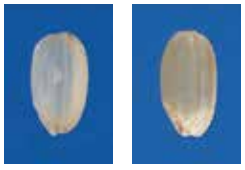

乳白粒　心白粒

●解　　説　胚乳部に白色不透明な部分がある。登熟初中期にデンプンの供給が追い付かず、部分的にデンプンが不足して発生

●気象的要因　登熟初期（出穂後20日間）の高温または日照不足

●栽培的要因　籾数過多、総籾数が30,000粒/㎡を上回ると発生率が高い

背白粒・基部未熟粒


背白粒　基部未熟粒

●解　　説　粒の背部、基部に白色不透明な部分がある。登熟期後半にデンプンの充実が阻害されて発生

●気象的要因　登熟期の高温、高日射条件

●栽培的要因　登熟期の稲体の活力低下（低窒素条件）
出穂前後から成熟期までの水不足、病害（紋枯病等）

胴割粒



胴割粒

●解　　説　米粒に亀裂がある。
気象条件等による吸水や放水のために粒内水分が不均一となりゆがみが発生

●気象的要因　出穂後10日間の高温（特に最高気温）

●栽培的要因　生育期間の水不足、早期落水、刈り遅れ、急激な乾燥、登熟後半の栄養不足

■重点技術対策

気象変動に対応できるように稲体の活力を維持し、技術対策を実践しましょう！

①土づくり

土づくりは、土壌の物理性、化学性および生物性が整い地力が向上し、水稲の安定生産や収量・品質の向上に繋がるため重要です。

土づくりの３ポイント、「有機物の施用」、「深耕15cm以上」、「土づくり肥料の施用」を実践しましょう。詳しくは、土づくりの項を参照してください。

②適正移植

過剰な生育量や籾数を軽減し、無効分げつを抑え、太い分げつの茎や稔実の良い穂を確保し、生育後半まで栄養状態を維持するため、地域・品種に応じた移植時期と栽植密度を実践しましょう。

③水管理

登熟後半まで稲体の活力を維持し健全化を図るため、生育時期に合わせた水管理を行いましょう。

・移植２週間後には、浅水管理で分げつ促進と還元障害を回避する。
・早めの中干しで無効分げつを抑える。過度な中干しは、根を痛めるため行わない。
　環境直接支払の長期中干しを実施される方は、14日間以上の中干しが必要。
　（晴天が続き、ほ場の土が白く乾く場合は走水をし、水分調整をしてください。）
・出穂前後各３週間は湛水管理で白未熟粒の抑制と籾の充実を高める。
・収穫作業に支障のない限り収穫直前まで入水する。

④施肥管理

稲体の栄養を維持し、籾の充実向上による収量確保と白未熟粒などの外観品質の低下を防ぐため、葉色が薄い場合は、追肥を施用しましょう。

・施用時期：出穂期から穂ぞろい期まで
・施 用 量：窒素成分で１～２kg/10a程度

⑤適期収穫

刈り遅れると胴割粒や白未熟粒、茶米の発生が増加し品質低下するため、適期に収穫を行いましょう。

・収穫適期：籾黄化率85～90%（「みずかがみ」は90%）
・近年は、高温で登熟日数が短い傾向にあります。ほ場をよく観察するとともに、早めにコンバインや乾燥機等、収穫の準備をしましょう。

良質な米づくりは土づくりから
目指せ!! すっきりした稲姿

良質米の生産は、土づくりからすでに勝負が始まっています。

近年、度重なる異常気象など気象変動の影響により、お米の収量・品質に対して大きな影響が出ています。また、水田の土壌は、温暖化の進行や田畑輪換栽培（水稲と麦大豆）により地力低下の傾向にあります。

土づくりにより、土壌の物理性、化学性および生物性が整い、地力が向上して、水稲の安定生産や収量・品質の向上に繋がるため、土づくりはもっとも重要です。

土づくり技術のポイント、「有機物の施用」、「深耕」、「土づくり肥料の施用」を実践し、異常気象などの気象変動に負けない良質米生産を目指しましょう。

土づくり
有機物の施用、深耕土づくり肥料の施用を実施しましょう。

育苗
薄播き、こまめな温度管理。ずんぐりとした太い苗を育てよう!

田植え
標準植えの実施。（早生品種）
１株３～４株を目標に、品種によって50～60株 / 坪で！元肥は規定量を施肥。
緩効性肥料の使用で初期生育の過繁茂抑制。

中干し
中干しまでに倒伏防止と良食味米づくりにけい酸加里の施用をしましょう。

小さい分げつも含めて１株平均17～18本確認できれば遅れずに中干し実施！
適量追肥で穂肥前の体力維持を図ろう!

穂肥・水管理
幼穂形成をまず確認！
適期に適量の穂肥を施用！
出穂期前後３週間は水を切らさない！
（カドミウム吸収抑制対策）

防除
病害虫は耕種的防除と発生予察に基づく地域ぐるみの適正防除で品質向上!

畦畔草刈りは出穂３週間前頃と出穂期頃の２回実施

収穫
適期刈り取りの確認（穂元に緑色籾が10～15パーセント残った時点）
落水時期はできるだけ遅らせる!
田面が白乾しそうならば、走水を実施!

乾燥・調製
急激な乾燥、高温での乾燥は胴割米の発生のもと!
1.9㎜網目で調製して品質向上
（籾混入にも注意）
作業前、品種変更時の清掃の徹底で、コンタミ防止。

良品質米の出来上がり



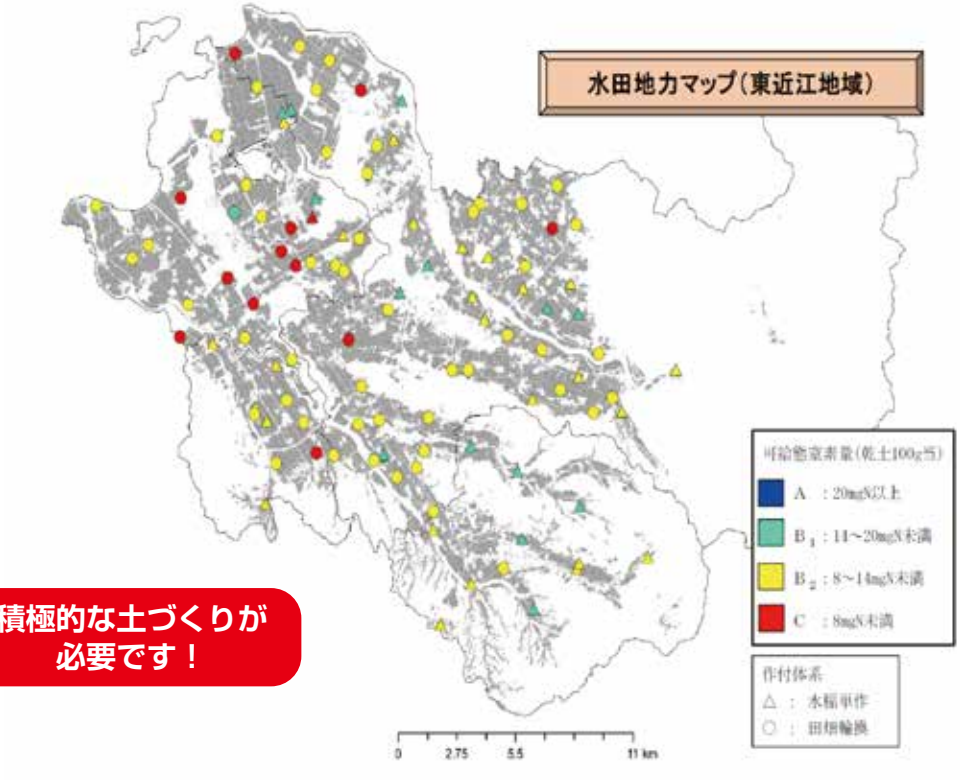


重要!!　気象変動対策（高温・低温・日照不足等）・良品質米生産は、土づくりが重要です。

※近年元肥一発型肥料が普及し、高温の気象が続くと穂肥時期や収穫直前に肥料切れの圃場が散見されます。圃場を見て適切な施肥管理をお願い致します。

水田の地力の実態は

水田ほ場の地力（可給態窒素量）を調査された結果から、管内では、積極的な土づくりが必要なランク「B２」「C」が多くみられ、地力が低下しています。



土の力を最大限活かす！「水田土づくりマニュアル」
～ＣＯ２ネットゼロに向けて～（滋賀県 2022）より抜粋

土壌診断に応じた土づくりと施肥コスト削減

土づくりにより土壌中の養分状態を良好に保つ必要があります。そのためには、土壌の不足する養分と過剰な養分を把握する「土壌診断」が有効です。

診断結果に応じて適切な施用量に調整することで作物の品質や収量の向上につながるのはもちろん、過剰な施肥を避けることでコスト低減も図れます。

土壌分析は、地域や集落ぐるみで実施しましょう!!

≪土壌分析項目≫

pH（酸度）	EC（電気伝導度）	りん酸吸収	りん酸（有効態りん酸）	CEC（塩基置換容量）	石灰	苦土
加里	けい酸	酸化鉄	腐植	アンモニア態窒素	硝酸態窒素	

水稲分析項目：〈pH・CEC・りん酸・石灰・苦土・加里・けい酸・酸化鉄・腐植〉

※上記の土壌分析は、担い手農家は無償、一般農家は１サンプル１項目当り250円（税別）
※お問い合わせは、TACまたは各営農振興センターまで
※分析結果（処方箋）の提供には時間（１ヶ月半程度）を要します。ご了承ください。

土壌分析を実施し、ほ場に応じた土づくり対策を実施しましょう！

土づくりのポイント①　有機物の施用

有機物の施用は、腐植が増加し土が耕しやすくなる、様々な養分がゆっくりと現れ作物の栄養供給源となる、土中の微生物数が増加し蓄積されていた有機物の分解が促進される、などの効果により、収量の増加が期待できます。

水稲収穫後の稲わらはもちろんのこと、堆肥やヘアリーベッチ（緑肥）を活用し有機物を施用しましょう。

■堆肥の施用

牛ふん堆肥は、作物の三大栄養素である窒素・りん酸・加里がバランスよく含まれ、繊維質も多いため土壌改良成分として長期的に効果を発揮します。一方、鶏ふんは、牛ふん堆肥に比べ窒素含有比率が高く、化学肥料と同程度の肥料効果が見込めます。

堆肥の連年施用により、化学肥料の施用量削減も期待できます。施用する堆肥の特徴を踏まえ、土壌の状態や堆肥の窒素量等を十分考慮し、元肥量を調整し施用するようにしましょう。



有機物	施用量／10a	施用時期
牛ふん堆肥	1～2t	年内鋤き込み
鶏ふん	200～300kg	

※上記の堆肥を秋鋤込みした場合（単年施用）は、土壌にあわせて元肥量を調整してください。

■ヘアリーベッチ栽培（緑肥栽培）

ヘアリーベッチは、マメ科の緑肥作物で、肥料効果と土づくり効果が期待できます。
栽培は、10 月に播種し、水稲 の作付前に鋤き込みを行います。

生育は旺盛で、根粒菌による窒素固定を行い、8～ 12kg/10a の減肥ができ無肥料栽培も可能です。また、根の伸長による排水性改善や土壌の団粒化により土が柔らかくなる効果も期待できます。

・播種量　3～5kg/10a（均一に播種）
・播種適期　湖辺・平坦　10月20日～30日
　　中山間　10月15日～25日
※今後の取組としてご紹介させて頂きます。

ヘアリーベッチ栽培～水稲栽培の流れ



土づくりのポイント②　深耕

土を深く耕すことで作土層が拡大し、根の伸長を広げるとともに、土の保肥力を向上させ、根の動きを高め健全な稲を育てることに繋がります。

目標の深さ：15cm以上

令和５年産　品種：キヌヒカリ　収穫量：10俵／10a


耕耘深さ：約17cm



土づくりのポイント③　土づくり肥料の施用

水稲の生育に必要な養分として、炭素・水素・酸素・窒素・カリウム・カルシウム・マグネシウム・りん・硫黄で、その他に鉄・マンガン等が必要です。

お米の品質向上には、養分の補給が欠かせません。土づくり肥料の施用により、健全な根の生育を助長するとともに、乳白粒や未熟粒の発生予防など安定した品質・収量を得ることが見込まれます。また、アルカリ分の補給により土壌pHを上げることで、カドミウムの吸収抑制にも効果があります。

特に、りん酸・けい酸は稲体を健全に生育させ病害虫に対する抵抗性も高まり、気象変動に負けない安定した米の生産が期待できます。

土壌診断を実施した結果から、土壌養分に応じた適正な土づくり肥料の施用を実施しましょう。

目標土壌酸度：pH6.5

■収穫後～４月まで

●稲わらの全量鋤き込みと有機堆肥の施用が肥持ちを向上●



『新ふりかけ堆肥eco』腐植酸が通常堆肥の約10倍	施用量（10aあたり）60～100kg
特　性	・粒状で機械散布ができます。 ・腐植酸によって発根を促進させ養分の吸収の促進が期待できます。

●けい酸投入で倒伏に強い稲体とカドミウム抑制●



『とれ太郎』けい酸の吸収利用率の高い資材					施用量（10aあたり）80kg
成分	く溶性りん酸	く溶性苦土	可溶性けい酸	アルカリ分	（酸化鉄）
	6％	12%	30%	40%	3％
特性	・80kg施用でけい酸を24kg補給できます。 ・茎葉を丈夫にするので倒伏軽減に効果があり、登熟向上で粒張りが良くなり安定多収に効果があります。 ・りん酸・けい酸・苦土・石灰をバランス良く含んでいる総合的土づくり資材です。				

●鉄が老朽化水田をリフレッシュ !! けい酸で稲体を強化●



『シリカサポート１号』　ガス湧き抑制による活着促進、りん酸やけい酸との相乗効果で収量・品質向上!!					施用量（10aあたり）80kg
成分	く溶性りん酸	く溶性苦土	可溶性けい酸	アルカリ分	鉄（酸化鉄）
	3％	1％	20%	32%	10.8%（15.4%）
特性	・実際の水田環境に近いpHで溶出しやすいけい酸（高溶出けい酸）を多く含み、稲に吸収されやすい資材です。 ・鉄がガス湧きや秋落ちを抑制します。 ・苗の活着を促し、登熟向上による品質や収量の向上が期待できます。				

◎麦・大豆・野菜跡等の土づくりについて

麦・大豆・野菜などの田畑輪換を行うことで、地力は年々低下します。地力を維持・向上するためには、麦・大豆・野菜跡であっても、土づくり資材を継続して施用しましょう。

また、麦･大豆･野菜跡などの残渣については、しっかりと土に鋤き込むことで、有機物として利用し、土づくり肥料の施用とあわせて稲の養分吸収にうまく活用しましょう。

育苗期にバイオ資材投入と水稲生育期（中間追肥）の微量要素投入で『元気な稲』づくりをしましょう‼

■育苗期　～強いイネは苗づくりから～

水稲は「苗半作」と言われるほど苗づくりが重要です。
『ゆめバイオ』は　”健康苗づくり”　をお手伝いします。



方法	苗箱施用法	育苗時灌水法	浸種時浸漬法
施用量	培土量に対して資材5%	灌水量に対して資材5%	水量に対して資材10%
手順	苗箱にいずれかの方法で施用する ①種もみの上に施用 ②覆土に混和 ③床土に混和	ゆめバイオと水を混ぜ合わせ、懸濁水を育苗初期に灌水する	浸種に使用する水にゆめバイオを入れ、種もみと合わせて浸漬する（浸種期間：3日以上）
模式図			





ゆめバイオ施用から15日後
根張り写真

施用効果（滋賀県）

【育苗時】　【移植後】



ゆめバイオの効果で、根張り向上!!

■田植え前～生育期間中（中間追肥）

●けい酸加里プレミア34投入で根の張り促進、品質、収量向上に最適●



『けい酸加里プレミア34』けい酸＆加里の相乗効果で根の張り促進、品質、収量向上						施用量（10aあたり）
成分	く溶性加里	可溶性けい酸	く溶性苦土	く溶性ほう素	施用時期	
	20%	34%	4%	0.1%	秋施用（散布後すぐ耕起）	40～60kg
					春施用（散布後すぐ耕起）	
					中間追肥（出穂40日前）	20kg
特性	・倒伏に強くなります。 ・登熟が向上し、収量・品質・食味が向上します。 ・高温障害の軽減が期待できます。【クーラー効果】 ・けい化細胞が強化され、茎や葉が丈夫になります。					

●畑のカルシウム投入で硫黄欠乏による初期生育抑制障害（病み田）対策に最適●



『畑のカルシウム』　水稲の硫黄欠乏による初期生育抑制障害（病み田）対策に最適！濁水発生軽減に最適！							施用量（10aあたり）
成分	カルシウム	水溶性カルシウム	硫黄	水分	pH	施用時期	
	28.5%	26.3%	17%	0.6%	5.1%	代かき10～30日前	20～40kg
						代かき直後	
						追肥	
特性	・近年、硫黄欠乏による黄化症が確認されています。水稲の初期生育抑制障害（病み田）対策に最適な資材です。 ・代かき直後に散布することにより濁水発生を軽減することができます。（滋賀県農業技術振興センター実証済） ・根の張り・品質・収量が向上します。						

●美味しいお米づくり！生育旺盛‼　収量と品質向上に最適●



『マルチサポート2号』　吸収のしやすい苦土（マグネシウム）とけい酸で食味向上‼生育向上!!										施用量（10aあたり）
成分（*効果発現促進材）（**含有成分）	水溶性苦土	水溶性マンガン	水溶性ほう素	銅*	亜鉛*	全けい酸**	鉄**	硫黄**（計算値）	施用時期	
	12%	0.2%	0.2%	0.02%	0.05%	約20%	約3%	約10%	春散布（代かき前まで）	40～60kg
									田植え後（10～20日後目安）	20～40kg
									中間追肥（出穂約40日前）	20～40kg
特性	・主成分である苦土（マグネシウム）やけい酸により、初期生育や根張りが向上し高温登熟や日照不足に負けない強い稲につながります。 ・吸収しやすい苦土と含有成分のけい酸により、タンパク含量を抑えられた甘みのある美味しいお米につながります。 ・硫黄を含んでおり、近年見られる硫黄欠乏による初期生育抑制障害（病み田）対策としても使用できます。									

◇JAグリーン近江統一版　特別栽培米『みずかがみ』　推奨ガイドライン◇

滋賀県一の『みずかがみ』産地へ・・・特A産地をめざす!!

JAグリーン近江管内は、県内最大の『みずかがみ』の産地です。JAグリーン近江では、農家組合員のみなさまの努力が販売価格に反映されるような制度を拡充しています。実需者から求められるおいしい良質米『みずかがみ』の安定供給をめざして共にがんばりましょう。

※『みずかがみ』栽培のポイント
- 収量・品質を安定するには、穂数（茎数）を確保することが最も大切です。
- 還元障害（病み田）対策を行い、初期の生育をしっかりと確保することが重要です。
  （初期生育が悪いと収量・品質に大きく影響します）
- JAグリーン近江管内において、土質（粘質土、砂質土、黒ボク土など）や地帯（湖辺・平坦・山間）によって生育が異なるのでほ場に応じた施肥管理を行いましょう。
  （麦・大豆・野菜跡の畑作輪換ほ場に応じた施肥設計も同様です）
- 気象変動に対応するため葉色診断に基づく施肥を実施することが重要です。

田植時期・栽植密度
田植は、4月末～5月上旬に行い、遅れないようにしましょう。
- 湖辺：60株／坪
- 平坦：60～70株／坪
- 山間：70株／坪

『みずかがみ』特別栽培米農薬統一基準

項　目	種子消毒	殺虫殺菌箱施用剤	除草剤			殺虫本田防除剤
			①初中期一発剤	②ヒエが残った場合	③広葉雑草が残った場合	
指定農薬成分名	―	シアントラニリプロール トルプロカルブ	イプフェンカルバゾン テフリルトリオン	シハロホップブチル	ベンタゾンナトリウム塩	ジノテフラン
成分数	0	2	2	1	1	1
JA奨励農薬名 使用量 （10aあたり）	温湯 消毒	ツインキック箱粒剤 50g／箱	キマリテ1キロ粒剤	クリンチャー1キロ粒剤	バサグラン粒剤	スタークル粉剤DL
			1kg／10a	1～1.5kg／10a	3～4kg／10a	3kg／10a
			キマリテジャンボ	クリンチャージャンボ	バサグラン液剤	スタークル粒剤
			10個（300ｇ）／10a	20～30個／10a	500～700ml／10a	3kg／10a
			キマリテフロアブル	クリンチャーEW	―	スタークル豆つぶ
			500ml／10a	100ml／10a		250g／10a
			―	クリンチャーバスME液剤 1000ml/10a		スタークル液剤10
						散布1000倍　無人航空機8倍
使用回数	―	1回	1回	1回	1回	1回

ばか苗が毎年気になる場合・・・
種子消毒：ばか苗病対策　エコホープDJ　微生物農薬（農薬カウント０成分）　チラシ参照　（温湯消毒＋エコホープDJ）
エコホープDJは、微生物農薬で使用期限が短い薬剤ですので、次年度へ持ち越さないようにお願い致します。

※　注意　※
特別栽培米の基準は、各環境こだわり米部会の環境こだわり栽培認証を受けられる栽培を基準としますが、合計農薬成分数が7成分以内であっても上記の農薬成分以外を使用された場合はJAグリーン近江統一版の特別栽培米となりません。
※すでに結びつきのある部会の独自取り組みは特別栽培米扱いと致します。

『みずかがみ』施肥設計（ほ場に応じた土づくり･肥料･微量要素を施用しましょう）

時　　期	肥料名	施用量（10aあたり）	備　　考
土づくり	牛ふん堆肥	1～2ｔ	有機物の施用
	新ふりかけ堆肥eco	60～100kg	
	とれ太郎	80kg	選　　択
	シリカサポート1号	80kg	
	けい酸加里プレミア34	40～60kg	
還元障害対策（病み田対策）	畑のカルシウム	20～40kg	代かき前（10～30日前）又は田植え後
元　　肥 又は 中間追肥（出穂35～40日前）	けい酸加里プレミア34	20kg	選　　択
	マルチサポート２号	20～40kg	

≪元肥一発型（推奨）≫

地　　帯	肥　料　名	施用量（10aあたり）	大豆跡等の施用量（10aあたり）
生育後半の肥持の良い水田 （粘質土、永源寺、日野、大中など）	みずかがみ基肥一発 13-5-5	60kg	30～50kg
生育後半の肥持の悪い水田 （砂質土、黒ボク土、湖辺など）	楽すけ 13-5-5	60kg	

≪分施型（推奨）≫

時　期	肥料名	施用量（10aあたり）	大豆跡等の施用量（10aあたり）
元　肥	滋賀こだわり元肥ハーフコート344　13-4-4	30～35kg	20～25kg
穂　肥	滋賀こだわり穂肥ハーフコート306　13-0-6	25kg	20～25kg

≪収量・品質向上対策≫
６月中旬頃の茎数が25本/株を下回ったほ場では、追肥を施用することでタンパクを上げることなく収量の向上を期待できるのでお勧めします。施肥時期：６月中旬　　窒素施肥量：２kg /10a程度　　参考肥料：滋賀こだわり元肥855　20～25kg /10a

◇JAグリーン近江統一版　特別栽培米『コシヒカリ』・『秋の詩』　推奨ガイドライン◇

『コシヒカリ』・『秋の詩』特別栽培米農薬統一基準

項　目	種子消毒	殺虫殺菌 箱施用剤	除草剤			殺虫 本田防除剤
			①初中期一発剤	②ヒエが残った場合	③広葉雑草が残った場合	
指定農薬成分名	―	シアントラニリプロール トルプロカルブ	イプフェンカルバゾン テフリルトリオン	シハロホップブチル	ベンタゾンナトリウム塩	ジノテフラン
成分数	0	2	2	1	1	1
JA奨励農薬名 使用量 （10aあたり）	温湯 消毒	ツインキック箱粒剤 50g／箱	キマリテ1キロ粒剤	クリンチャー1キロ粒剤	バサグラン粒剤	スタークル粉剤DL
			1kg／10a	1～1.5kg／10a	3～4kg／10a	3kg／10a
			キマリテジャンボ	クリンチャージャンボ	バサグラン液剤	スタークル粒剤
			10個（300ｇ）／10a	20～30個／10a	500～700ml／10a	3kg／10a
			キマリテフロアブル	クリンチャーEW	―	スタークル豆つぶ
			500ml／10a	100ml／10a		250g／10a
			―	クリンチャーバスME液剤 1000ml/10a		スタークル液剤10
						散布1000倍　無人航空機8倍
使用回数	―	1回	1回	1回	1回	1回

ばか苗が毎年気になる場合・・・
種子消毒：ばか苗病対策　エコホープDJ　微生物農薬（農薬カウント０成分）　チラシ参照　（温湯消毒＋エコホープDJ）
エコホープDJは、微生物農薬で使用期限が短い薬剤ですので、次年度へ持ち越さないようにお願い致します。

※　注意　※
特別栽培米の基準は、各環境こだわり米部会の環境こだわり栽培認証を受けられる栽培を基準としますが、合計農薬成分数が7成分以内であっても上記の農薬成分以外を使用された場合はJAグリーン近江統一版の特別栽培米となりません。
※すでに結びつきのある部会の独自取り組みは特別栽培米扱いと致します。

『コシヒカリ』・『秋の詩』施肥設計（ほ場に応じた土づくり・肥料・微量要素を施用しましょう）

時　　期	肥料名	施用量（10aあたり）	備　　考
土づくり	牛ふん堆肥	１～２ｔ	有機物の施用
	新ふりかけ堆肥eco	60～100kg	
	とれ太郎	80kg	選　　択
	シリカサポート1号	80kg	
	けい酸加里プレミア34	40～60kg	
還元障害対策（病み田対策）	畑のカルシウム	20～40kg	代かき前（10～30日前）又は田植え後
元　　肥 又は 中間追肥（出穂35～40日前）	けい酸加里プレミア34	20kg	選　　択
	マルチサポート２号	20～40kg	

≪元肥一発型（推奨）≫

品種名	肥　料　名	施用量（10aあたり）	大豆跡等の施用量（10aあたり）
コシヒカリ	楽すけ 13-5-5	40～50kg	30～45kg
秋の詩	有機入りセラコートR355 13-5-5	55～60kg	35～50kg

≪分施型（推奨）≫

時　期	肥料名	コシヒカリ		秋の詩	
		施用量 （10aあたり）	大豆跡等の施用量 （10aあたり）	施用量 （10aあたり）	大豆跡等の施用量 （10aあたり）
元　肥	滋賀こだわり元肥ハーフコート344 13-4-4	20～25kg	15～20kg	25～30kg	20～25kg
穂　肥	滋賀こだわり穂肥ハーフコート306 13-0-6	25～30kg	20～25kg	25～30kg	20～25kg

≪異常高温対策≫
葉色が薄いほ場の場合（出穂期頃の葉色５以下の場合）生育維持（外観品質低下抑制）のため、追加施肥（止葉期追肥）をお勧めします。
施肥時期：止葉期～穂揃期まで
窒素施肥量：２kg／10a程度
参考肥料：滋賀こだわり元肥855 20～25kg／10a

◇一般栽培米　ガイドライン◇

土づくり	病み田対策 （代かき10～30日前） 又は（田植え後）	中間追肥 （出穂35～40日前）	種子消毒	育苗土壌消毒	除草剤（３成分）
牛ふん堆肥 新ふりかけ堆肥eco とれ太郎 シリカサポート1号 けい酸加里プレミア34	畑のカルシウム	けい酸加里プレミア34 又は マルチサポート2号	温湯消毒又は テクリードCフロアブル ＋ スミチオン乳剤	ナエファイン粉剤 又は ナエファインフロアブル	カイリキZ1キロ粒剤 カイリキZフロアブル カイリキZジャンボ

≪元肥一発型（推奨）≫

（10ａあたり）

肥料名	コシヒカリ	キヌヒカリ	日本晴	ゆめおうみ	秋の詩	滋賀羽二重糯
これいいね（早生用）　27-７-10	30kg	40～50kg	―	―	―	―
すご稲（早生用）　25-10-10	30kg	40～50kg	―	―	―	―
ハイユーコート024（早生用）　20-12-14	40kg	50～55kg	―	―	―	―
これいいね（中晩生用）　27-７-10	30kg	40～50kg	40～50kg	50kg	35kg	30kg
すご稲（中晩生用）　25-10-10	30kg	40～50kg	40～50kg	50kg	30kg	30kg
ハイユーコート024L（中晩生用）　20-12-14	40kg	50～55kg	50kg	65kg	45kg	35kg
全窒素合計	8kg	10～13kg	10～13kg	13kg	8～10kg	7～8kg

※『コシヒカリ』・『キヌヒカリ』を初期の分げつの悪い地帯や肥持ちのよい地帯で栽培する場合は、早生用をご使用ください。
※『コシヒカリ』・『キヌヒカリ』を５月上旬田植えや肥持ちの悪い地帯で栽培する場合は、中晩生用をご使用ください。

≪省力分施型（推奨）≫

（10ａあたり）

時期	肥料名	コシヒカリ	キヌヒカリ	日本晴	ゆめおうみ	秋の詩	滋賀羽二重糯
元肥	ニューコートビッグパワー元肥 20-10-10	15kg	30kg	30kg	30kg	20kg	15kg
穂肥	コートビッグパワー穂肥 18-3-10	20kg	25kg	25kg	25kg	20kg	20kg
全窒素合計		7kg	11kg	11kg	11kg	8kg	7kg

※『コシヒカリ』・『秋の詩』・『滋賀羽二重糯』１回目の穂肥は出穂18日前、その他品種は出穂25日前です。

≪分施型（推奨）≫

（10ａあたり）

時期	肥料名	コシヒカリ	キヌヒカリ	日本晴	ゆめおうみ	秋の詩	滋賀羽二重糯
元肥	国産化成肥料444 14-14-14	15kg	30～40kg	40kg	40kg	15kg	15kg
追肥	国産化成肥料444 14-14-14	10kg	15kg	20kg	15kg	15kg	10kg
穂肥①	化成肥料201　20-0-10	10kg	15～20kg	20kg	20kg	10kg	10kg
穂肥②	化成肥料201　20-0-10	10kg	10kg	10kg	10kg	10kg	10kg
全窒素合計		8kg	11～14kg	14kg	14kg	8kg	8kg

※『コシヒカリ』・『キヌヒカリ』の追肥は6月5～10日頃に施用、その他品種の追肥は6月20日頃です。
※『コシヒカリ』・『秋の詩』・『滋賀羽二重糯』１回目の穂肥は出穂18日前・2回目は出穂11日前、その他品種の穂肥は出穂25日前です。

≪大豆跡等の元肥一発型（推奨）≫

（10ａあたり）

肥料名	コシヒカリ	キヌヒカリ	日本晴	ゆめおうみ	秋の詩
新豆あと一発（早生用）　18-12-12	30kg	40kg	―	―	―
新豆あと一発（中晩生用）18-12-12	―	40kg	40kg	40kg	35kg
全窒素合計	5kg	7kg	7kg	7kg	6kg

≪異常高温対策≫

葉色が薄いほ場の場合（出穂期頃の葉色５以下の場合）生育維持（外観品質低下抑制）のため追加施肥（止葉期追肥）をお勧めします。

施肥時期：止葉期～穂揃期まで　　窒素施肥量：2kg／10ａ程度　　参考肥料：硫安10kg/10a　　尿素5kg/10a

※各施肥の設計は参考にして頂き、土質と天候と管理によって倒伏する場合があります。

＜元肥一発型肥料 使用上の注意＞

○肥沃土では、１割程度控えめに施用してください。
○山間地では、幾分多めに施用してください。
○強い衝撃や摩擦により被覆肥料の被膜が損傷し溶出が早まる恐れがあるので注意してください。
○元肥一発型肥料を使った水稲の生育過程は、従来、慣行施肥とも多少異なる場合がありますので、心配がある場合はJAまたは、東近江農業農村振興事務所農産普及課にご相談ください。
○ほ場条件等を考慮して施肥量を決めてください。
○側条施肥については、田植え前に必ず施肥量を確認し、使用中にも定期的に確認してください。

田畑輪換田の注意事項

野菜・大豆跡の復元田（復元初年目）においては、前作の残存養分の影響が大きいので水稲栽培には以下のような注意が必要です。
倒伏を防止するための対策として、４㎝前後のやや深植や活着後の浅水が有効です。

１.施肥量の調節

水田を畑（転作）として活用すると、土壌は酸化状態となりこれまで分解されなかった有機物が微生物の働きで分解され、可給態窒素量が増加されます。
水稲を作付けした場合の肥料の削減割合は、畑作期間に応じて施肥量を削減してください。
（例）麦－大豆跡、野菜跡
元肥窒素量：転換期間１年の場合は、稲作初年度慣行の半量程度、２年目以降慣行
　　畑作期間２年の場合は、稲作初年度半量以下、２年目以降慣行、
　　３年以上の場合は、稲作初年度無窒素、２年目半量、3年目以降慣行
穂肥窒素量：葉色板数値（日本晴基準）4.5以上で穂肥省略
一般栽培では、「新豆あと一発」を使用してください。

種　子　消　毒

温湯消毒	種籾は60～62℃の温湯に10分間浸漬した後、直ちに流水中で冷却する。 浸種の水は１～２日毎に交換し雑菌繁殖を防止しましょう。 温湯消毒後に種子水分が高いままで高温や高湿度条件下で保管すると、発芽不良やばか苗の発生原因になります。

品　　名	容 量	病　害　虫	濃　　度	時 間	備　　考
エコホープDJ（微生物農薬） （特栽米（環境こだわり米）使用可）	500g	ばか苗・いもち病・苗立枯病	200倍（水10ﾘｯﾄﾙに50g）	24～48時間	浸種前～催芽前
テクリードCフロアブル	100ml	ばか苗・いもち病・籾枯細菌	200倍（水10ﾘｯﾄﾙに50ml）	24時間	種子8kgあたり10ﾘｯﾄﾙ必要
スミチオン乳剤	100ml	イネシンガレセンチュウ	1,000倍（水10ﾘｯﾄﾙに10ml）		

※エコホープ DJ は、微生物農薬で使用期限が短いため、次年度へ持ち越さないようにお願い致します。

※同じ薬液を 3 回以上使用しないでください。（効果が極端に減少します）

育　苗　培　土

	品　　名	容　量	1袋あたり
床土	クリーン培土２号（寒）	20kg	10枚
	びわこ２号育苗培土	20kg	6枚
	びわこ３号育苗培土（ハイフミン入り）	20kg	7枚
覆土	クリーン培土２号（寒）	20kg	16枚
	びわこ1号育苗培土（肥料なし）	20kg	20枚

水稲肥料成分表

●特別栽培米用　（単位：%）

	肥　料　名	比重	窒　素			りん酸	加里	苦土
			全窒素	内有機態窒素	内緩効性窒素			
元肥一発型	みずかがみ基肥一発	0.75	13	6.7	4.1	5	5	―
	楽すけ（早生）	0.75	13	6.7	5.2	5	5	―
	有機入りセラコートR355（中晩生）	0.75	13	6.7	5.2	5	5	―
元　肥	滋賀こだわり元肥ハーフコート344	0.72	13	6.8	4.0	4	4	―
	滋賀こだわり元肥855	0.75	8	8.0	―	5	5	1
	有機アグレット674	0.74	6	6.0	―	7	4	―
穂　肥	滋賀こだわり穂肥ハーフコート306	0.70	13	6.7	4.0	―	6	1.5
	有機アグレット727	0.72	7	7.0	―	2	7	―

●通常米元肥一発肥料　（単位：%）

	肥　料　名	比重	窒　素			りん酸	加里	苦土
			全窒素	内有機態窒素	内緩効性窒素			
省力（早　生）	これいいね（早生用）	0.78	27	―	17.5	7	10	―
省力（中晩生）	これいいね（中晩生用）	0.78	27	―	17.5	7	10	―
省力（早　生）	すご稲N25（早生用）	0.82	25	―	15.0	10	10	―
省力（中晩生）	すご稲N25（中晩生用）	0.82	25	―	15.0	10	10	―
省力（早　生）	ハイユーコート024（早生用）	0.84	20	―	12.0	12	14	―
省力（中晩生）	ハイユーコート024L（中晩生用）	0.82	20	―	12.0	12	14	―
省力（早　生）	新豆あと一発（早生用）	0.87	18	―	13.9	12	12	―
省力（中晩生）	新豆あと一発（中晩生用）	0.87	18	―	13.9	12	12	―

●通常米栽培用　（単位：%）

	肥　料　名	比重	窒　素			りん酸	加里	苦土
			全窒素	内有機態窒素	内緩効性窒素			
元肥・追肥	国産化成肥料444	0.85	14	―	―	14	14	―
	ニュー有機ビッグパワー（元肥・追肥）	0.80	14	2.6	―	8	10	―
	ニューコートビッグパワー（元肥）	0.82	20	―	10.0	10	10	―
	有機アグレット674	0.74	6	6.0	―	7	4	―
	ネオペースト1号	1.35	12	―	―	12	12	―
	けい酸加里プレミア34	0.90	―	―	―	ケイ酸・34	20	4
穂肥	化成肥料201	0.78	20	―	―	0	10	―
	有機ビッグパワー（穂肥）	0.78	15	1.9	―	4	12	3
	コートビッグパワー（穂肥）	0.83	18	―	5.4	3	10	3
	有機アグレット727	0.72	7	7.0	―	2	7	―

（肥料の比重により施肥量が異なりますので、使用される施肥田植機の仕様書をご確認ください。）

水稲用肥料商品一覧

土づくり資材



とれ太郎



新ふりかけ
堆肥eco



シリカサポート
１号

育苗資材



クリーン培土2号
（寒地）



びわこ培土　１号２号３号

元肥一発肥料



楽すけ



みずかがみ
基肥一発



有機入り
ｾﾗｺｰﾄR355



これいいね
（早生・中晩生用）



すご稲N25
（早生・中晩生用）



新豆あと一発
（早生・中晩生用）

元肥・追肥



国産化成肥料
444



滋賀こだわり
ハーフコート344



ニュー有機
ビッグパワー



ニューコート
ビッグパワー



ネオペースト
1号

元肥一発肥料



ハイユーコート024(L)
（早生・中晩生用）

穂　肥



化成肥料
201



滋賀こだわり
ハーフコート306



有機
ビッグパワー



コート
ビッグパワー

品質向上対策



けい酸加里
プレミア３４



マルチサポート
２号

水稲用農薬商品一覧

種子消毒剤・育苗剤



ナエファイン
粉剤



ナエファイン
フロアブル

初期除草剤


メテオ
フロアブル



メテオ
ジャンボ



メテオ
1キロ粒剤



バレージ
粒剤

一発処理除草剤



キマリテ
ジャンボ



カイリキZ
ジャンボ



トップガンR
ジャンボ



ジェイソウル
ジャンボ



キマリテ
1キロ粒剤



カイリキZ
1キロ粒剤



トップガンR
1キロ粒剤



ジェイソウル
1キロ粒剤



キマリテ
フロアブル



カイリキZ
フロアブル



トップガンR
フロアブル


ジェイソウル
フロアブル

中期・中後期除草剤



セカンドショット
Sジャンボ MX



サンパンチ
1キロ粒剤



クリンチャー
1キロ粒剤


バサグラン
粒剤



バイスコープ
1キロ粒剤


ロイヤント
乳剤

初中期一発除草剤の特徴



トップガンR

４成分配合の安定した効き目！

４成分で一年生雑草から多年生雑草まで幅広く安定した効果を実現。
ロングセラーの除草剤、トップガンの最新シリーズ。

＜4成分＞
・プロモブチド・ベンスルフロンメチル・ベントキサゾン・ピリミノバックメチル



カイリキZ

ヒエ・ノビエに困ったらこの商品！

ノビエに対し長期残効性があり、長期間に渡り発生を抑える。
オモダカ、クログワイ等の難防除雑草にも高い効果を発揮。

＜3成分＞
・テフリルトリオン・イプフェンカルバゾン・プロピリスルフロン



ジェイソウル

イボクサ等の畦畔侵入雑草対策に！

サイラとピラゾレートの相乗効果で、従来の薬剤に抵抗性をもったオモダカ、
コナギ、イボクサに高い効果を発揮。
強力な白化作用により、効果発現が目に見て確認できる。

＜3成分＞
・シクロピリモレート(サイラ)・ピラゾレート・フェントラザミド

中後期除草剤の特徴



バイスコープ

強力な白化作用で高葉齢の雑草にも高い効果を発揮！

オモダカ、コナギ、ミズアオイに対して特に高い効果を発揮。
イボクサやクサネム等にも効果があり、湛水散布も可能。

＜2成分＞
・テフリルトリオン・シクロピリモレート(サイラ)



ロイヤント™乳剤
Rinskor™active

散布適期が長く、生育の進んだ雑草を取りこぼさない！

1成分でノビエをはじめとする水田一年生雑草、ウリカワ、ミズガヤツリ等の
多年生雑草のほか、クサネム、イボクサにも優れた効果を発揮。

＜1成分＞
・フロルピラウキシフェンベンジル(リンズコア)

雑草防除体系

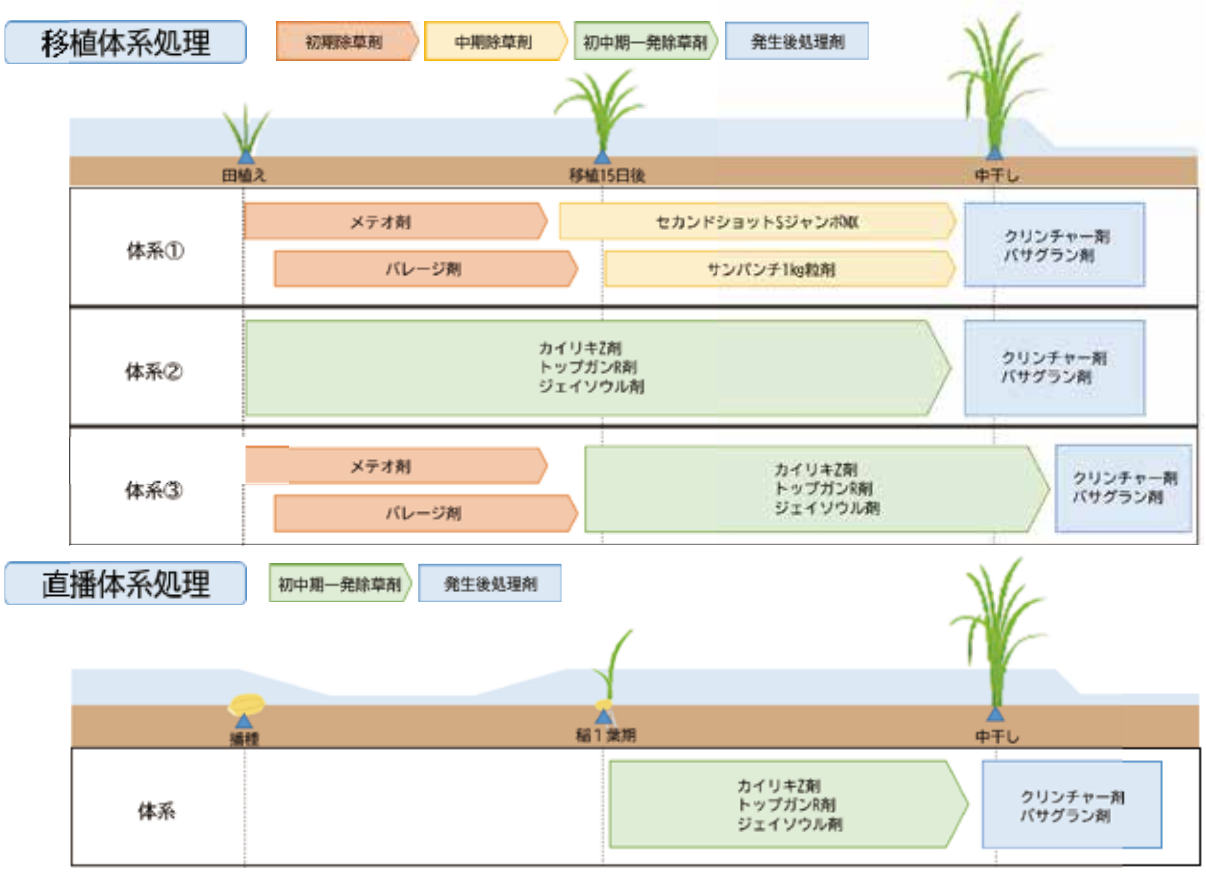
初中期一発型　農薬の登録内容は、令和5年9月現在の登録内容となっています。

※　移植時･･･田植え同時使用が可能です。

薬剤名（剤型）		散布量/10a	使用時期	ノビエ葉期
ジャンボ剤	キマリテジャンボ	30g×10個	移植直後～移植後30日まで	3.0葉期まで
	トップガンＲジャンボ	25g×10個	移植直後～移植後30日まで	2.5葉期まで
	カイリキＺジャンボ	30g×10個	移植後3日～移植後30日まで	3.0葉期まで
	ジェイソウルジャンボ	45g×10個	移植後1日～移植後30日まで	2.5葉期まで
フロアブル剤	キマリテフロアブル	500ml	移植時･移植直後～移植後30日まで	3.0葉期まで
	トップガンＲフロアブル	500ml	移植時･移植直後～移植後30日まで	3.0葉期まで
	カイリキＺフロアブル	500ml	移植後3日～移植後30日まで	3.0葉期まで
	ジェイソウルフロアブル	500ml	移植時･移植直後～移植後30日まで	2.5葉期まで
粒剤	キマリテ1キロ粒剤	1kg	移植時･移植直後～移植後30日まで	3.0葉期まで
	トップガンＲ1キロ粒剤	1kg	移植時･移植直後～移植後30日まで	3.0葉期まで
	カイリキＺ1キロ粒剤	1kg	移植時･移植直後～移植後30日まで	3.0葉期まで
	ジェイソウル1キロ粒剤	1kg	移植時･移植直後～移植後30日まで	2.5葉期まで

毎年雑草がひどくてお困りの場合は、**体型処理**をオススメします！

体系処理とは…　初期剤や初中期一発剤と中後期剤を組み合わせて散布する方法です。
初期剤、初中期一発剤散布後、中後期剤を散布することで除草剤効果を持続させ、難防除雑草を処理します。
クリンチャー剤やバサグラン剤については、後次雑草の発生が確認された場合のレスキュー剤としてご使用ください。



○農薬の登録内容はメーカー間により違いや変更がありますので、農薬の使用に当たっては必ずラベルを確認して使ってください。
○雑草名や農薬使用に当たり不明な点がありましたら各営農振興センターに相談してください。

除草剤の特徴

令和5年9月現在の登録内容です。

区分	剤型	薬剤名	成分数	初期・初中期一発除草剤													
				1年生雑草			多年生雑草								移植時	湛水直播	ノビエ葉期
				ノビエ	コナギ	広葉	マツバイ	オモダカ	ウリカワ	ホタルイ	ミズカヤツリ	クログワイ	セリ	アオミドロ藻類表層剥離			
初期剤	ジャンボ剤	メテオジャンボ	1	◎	◎	◎	○	×	×	○	×	×	×	―	×	×	1.0葉期まで
	フロアブル剤	メテオフロアブル	1	◎	◎	◎	○	×	×	○	×	○	×	―	○	×	1.0葉期まで
	粒剤	メテオ1キロ粒剤	1	◎	◎	◎	○	×	×	○	×	○	×	―	○	×	1.0葉期まで
		バレージ粒剤	2	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	○	×	×	1.5葉期まで
一発剤	ジャンボ剤	キマリテジャンボ	2	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	○	○	―	×	◎	3.0葉期まで
		トップガンRジャンボ	4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	×	◎	2.5葉期まで
		カイリキZジャンボ	3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	×	◎	3.0葉期まで
		ジェイソウルジャンボ	3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	○	○	×	◎	2.5葉期まで
		ディオーレジャンボ	3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	×	◎	3.0葉期まで
	フロアブル剤	キマリテフロアブル	2	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	○	○	○	○	◎	3.0葉期まで
		トップガンRフロアブル	4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	3.0葉期まで
		カイリキZフロアブル	3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	×	◎	3.0葉期まで
		ジェイソウルフロアブル	3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	○	○	○	◎	2.5葉期まで
	粒剤	キマリテ1キロ粒剤	2	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	○	○	—	○	◎	3.0葉期まで
		サラブレッドGO1キロ粒剤	4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	○	○	◎※	2.5葉期まで
		トップガンR1キロ粒剤	4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	3.0葉期まで
		カイリキZ1キロ粒剤	3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	3.0葉期まで
		ジェイソウル1キロ粒剤	3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	○	○	○	◎	2.5葉期まで
		ディオーレ1キロ粒剤	3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	○	◎	3.0葉期まで

※土中播種の場合は稲1葉期～ノビエ2.5葉期まで◎、表面播種の場合は根の露出による薬害リスクがあるため×。

区分	剤型	薬剤名	成分数	中期・後期除草剤													
				1年生雑草						多年生雑草						湛水直播	ノビエ葉期
				ノビエ	コナギ	広葉	イボクサ	ヒレタゴボウ	クサネム	ホタルイ	ミズカヤツリ	クログワイ	キシュウスズメノヒエ	オモダカ	アシカキ		
中・後期剤	ジャンボ剤	セカンドショットSジャンボMX	3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	3.5葉期まで
		クリンチャージャンボ	1	◎	×	×	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	◎	4.0葉期まで（1.5kg散布5.0葉期まで）
	液剤	バサグラン液剤（ナトリウム塩）	1	×	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	×	◎	×
		ロイヤント乳剤	1	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	×	―	◎	―	◎	5.0葉期まで
		クリンチャーEW液剤	1	◎	×	×	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	◎	6.0葉期まで
		クリンチャーバスME液剤	2	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	○	◎	○	×	◎	5.0葉期まで
	粒剤	バサグラン粒剤（ナトリウム塩）	1	×	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	×	◎	×
		クリンチャー1キロ粒剤	1	◎	×	×	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	◎	4.0葉期まで（1.5kg散布5.0葉期まで）
		バイスコープ1キロ粒剤	2	×	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	×	◎	×	◎	×
		サンパンチ1キロ粒剤	4	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	3.5葉期まで

◎:効果大　○:効果あり　×:効果なし　―:登録なし

★湛水直播栽培では使用方法が多少異なるので必ずラベルをご確認ください

1. JA グリーン近江の取り扱い農薬は、効果、薬害、環境への影響、経済性等を考慮して厳選しています。使用前には農薬容器のラベルをよく読んで、ラベルの記載事項を遵守してください。
2. 農薬の商品に貼付されている説明事項を確認し、用法用量を守って使用しないと、薬害の発生や効果が不十分など農薬の特性を十分発揮できない場合があるのでご注意ください。
3. 詳しい取り扱い方法等、ご不明の点があれば当 JA までお問い合わせください。

水田の主な雑草

1 年 生 雑 草
多 年 性 雑 草
藻 類


ノビエ


アシカキ


ヒレタゴボウ


コウキヤガラ


ホタルイ


コナギ


キカシグサ


ミゾハコベ


ミズアオイ


アゼナ


アメリカアゼナ


タケトアゼナ


アゼトウガラシ


タマガヤツリ


イボクサ


アブノメ


アオミドロ


タカサブロウ


タウコギ


アメリカセンダングサ


クサネム


ウリカワ


ヘラオモダカ


オモダカ


マツバイ


ミズガヤツリ


クログワイ


ヒルムシロ


セ リ


シズイ

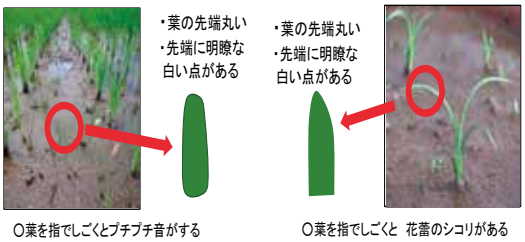

エゾノサヤヌカグサ


ウキグサ

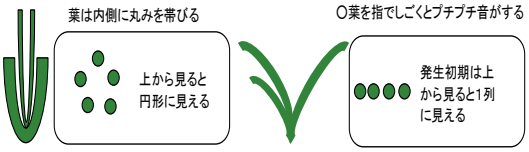
ややこしい雑草の見分け方

クログワイ と ホタルイ

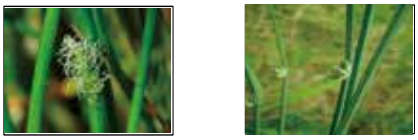
成植物



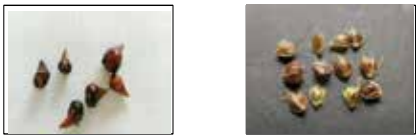
幼植物



花

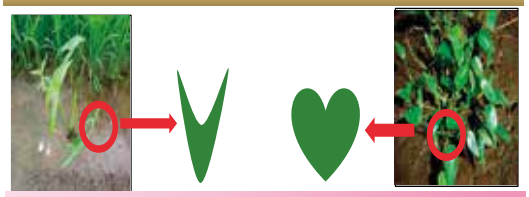


繁殖様式

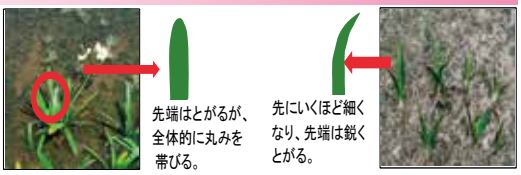


オモダカ と コナギ

成植物



葉齢1～5葉期



花



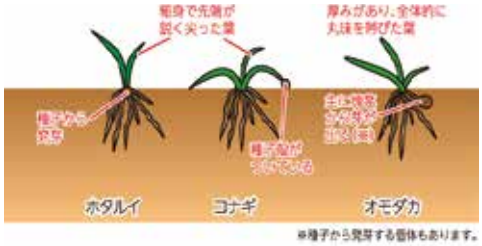
繁殖様式



ホタルイ幼植物 と コナギ幼植物

葉齢1～5葉期(花茎抽出前)





コウキヤガラ と ミズガヤツリ

成植物



塊茎・花



除草剤の上手な使い方

中干しまでの水管理が重要です!!

①処理の水深は5cm以上	②水口、水尻をしっかり止める	③藻・浮草の発生前に散布
散布時の水深は、ジャンボ剤・フロアブル剤は必ず5～6cmの湛水状態を保って下さい。 ※一般的に粒剤よりもジャンボ剤やフロアブルの方が水中で広がりやすい特性があります。	処理後は少なくとも7日間はそのまま湛水を保ち、落水・掛け流しはしないで下さい。田面を露出させないようにしましょう。	藻・浮草が発生していると、拡散が不十分となり効果が劣ることがありますので、使用時期の範囲内で早めに散布して下さい。

水田の藻対策について

＜藻を退治する秘訣＞

田植後に藻が大量発生したときは、夜間に落水して翌日に灌水するなどして、新しい水に入れ換えてみましょう。大雨が降れば、藻や表土剥離、ワキは自然に消滅しますので、水の入れ換えは不要です。
また、水温が30℃以上になれば、アオミドロや藻は死滅します。
藻が発生したままで除草剤をまくと、ジャンボ剤やフロアブル剤の拡散が悪くなるので除草効果が著しく悪くなります。除草剤を撒く前に水を入れ換えるなどの対策をしておきましょう。
藻に効く除草剤成分：ジメタメトリン（バレージ粒剤・サンパンチ１キロ粒剤　等）

近年の難航雑草について～水田の厄介な雑草防除特集～

ヒレタゴボウ
◇アカバナ科の一年生雑草で、熱帯アメリカ原産の帰化植物です。
◇発生時期が遅く、田植え直後の除草剤だけでは防除が難しい。
◇草丈は30cm～100cmを越えるものもある。
→中干し頃に幼植物が見られた場合は中後期剤にて防除を行います。
「セカンドショットSジャンボ」「バサグラン剤」「ロイヤント乳剤」が効果があります。

アメリカセンダングサ
◇キク科の一年生雑草で、成熟すると150cm近くに育ち収穫作業に影響を及ぼす。
◇田面の露出した部分に発生しやすく、一旦定着すると湛水下でも旺盛に生育する。
→生育初期の個体には「セカンドショットSジャンボ」「バサグラン剤」が有効とされています。

キシュウスズメノヒエ
◇イネ科の多年生雑草で、水路や畦畔に多く生育し水田に侵入してくる。
◇伸長中の茎は切断されても節があるとそこから発根発芽する。
→生育初期の個体には「セカンドショットSジャンボ」「サンパンチ１キロ粒剤」が効果があります。
→生育の進んだ個体には「クリンチャー」が有効とされています。
→耕起による切断・埋没ではほとんど死滅しない為、水稲刈跡に非選択性除草剤「ラウンドアップマックスロード」による防除が効果的です。

クサネム
◇マメ科の一年生雑草で、種子が玄米と同程度の大きさです。収穫時に混入すると除去が困難で、品位等級を低下させてしまいます。
◇湛水状態よりも畑地状態を好む為、田面露出部分からの発生が多いです。
→生育初期の個体には「セカンドショットSジャンボ」「バサグラン剤」「バイスコープ1キロ粒剤」が効果があります。
→生育の進んだ個体には「ロイヤント乳剤」が効果があります。

イボクサ
◇ツユクサ科の一年生雑草で畦畔際に多く、茎が地面を這うように伸び圃場内へと侵入してくる。
◇水稲に絡みつくため、水稲の減収や倒伏の他、収穫作業の障害となる。
→初中期一発除草剤の場合「ジェイソウル」が効果が高い。
→生育初期の個体には「セカンドショットSジャンボ」「バイスコープ1キロ粒剤」が効果的です。
→生育の進んだ個体には「ロイヤント乳剤」が効果があります。

ノビエ
◇イネ科の一年生雑草で、穂はカメムシを誘引するため斑点米被害にもつながります。
→初中期一発除草剤の場合「カイリキＺ」が残効性が有り効果が高い。
→発生が確認されたら、「セカンドショットSジャンボ」「クリンチャー」で防除を行う。（ヒエの葉期を確認すること）
→水保ちが悪い場合は、「クリンチャーバスＭＥ」「クリンチャーＥＷ」が効果があります。



【イネ縞葉枯病】県内にて拡大傾向。広域での対策を！

増えています、稲刈り後の黄色い田んぼ



縞葉枯病は、ヒメトビウンカが媒介するウイルス病で、ウイルスを保毒したヒメトビウンカが稲を吸汁することで感染・発病する。

症状は、葉が黄緑色または黄白色で稲の生育初期に発病すると、穂が出すくみによる籾の不稔や株枯れにより減収する。

県内での発生が年々増加しており、今後減収の一因となることが懸念され、その対策が求められることとなる。（発病すると治療方法がなく、防除が基本となる）

← 再生芽（ひこばえ）によるイネ縞葉枯病発生株
［東近江市内にて］

いちど近隣にある田んぼをご確認ください

被害拡大を抑える対策例

★【早期の耕起】秋耕（年内の耕うん作業）の
［確実な］実施による病害発生株のすき込み

★【畦畔除草】ウンカ類が潜む［イネ科雑草］の除去

★【薬剤防除】育苗箱施用剤の導入および
［規定量］散布の徹底(散布量が少ないケースが多い傾向）

※当JAでは令和６年産米にて、全農・農薬メーカーと協力し様々な箱施用剤の展示ほ場を設置等、使用資材の見直しも含めた調査を実施する予定です。

被害は湖辺～中間地域中心に発生し広域拡大中。
多くの方と現状を共有し、対策を！

水稲病害判定シート

ーほ場で見分けるー

葉に症状が出る病気







穂に症状が出る病気



本田予防または、発病が認められたら・・・

病　名	薬剤名	使用量	効　果	使用時期
いもち病	コラトップ粒剤	3～4kg/10a	予　防	葉いもちに対しては初発10日前～初発時
				穂いもちに対しては出穂30日前～5日前まで
	ブラシン粉剤	3～4kg/10a	治　療	収穫7日前まで
紋枯病	モンガリット粒剤	3～4kg/10a	予　防	収穫30日前まで
	モンカットファイン粉剤	3～4kg/10a	治　療	収穫14日前まで
	リンバー粒剤	3～4kg/10a	治　療	収穫30日前まで

※特別栽培米には、使用できませんのでご注意ください。

水稲害虫判定シート

ーほ場で主要害虫を見分けるー

移植期～出穂期(春～夏)の害虫



イネドロオイムシ
(幼虫4～6mm)



セジロウンカ
(成虫4～4．5mm)



ヒメトビウンカ
(成虫３～４mm)



コバネイナゴ
(成虫30～40mm)



イネクロカメムシ
(成虫6～9．5mm)



イネミズゾウムシ
(成虫3mm)



イネミズゾウムシ
(さなぎ3mm)



ニカメイガ
(幼虫1．6～23mm)



ニカメイガ
(成虫15～17mm)

出穂期～収穫期(夏～秋)の害虫



アカスジカスミカメ
(成虫5～7mm)



クモヘリカメムシ
(成虫16mm)



イネホソミドリカスミカメ
(成虫6mm)



ホソハリカメムシ
(成虫9～11mm)



トビイロウンカ
(成虫4～4．8mm)



ツマグロヨコバイ
(成虫4．5～5．3mm)



トゲシラホシカメムシ
(成虫4．5～6mm)

斑点カメムシ類

イネの出穂2～3週間前と出穂期の2回草刈りが有効です。

農家所得増大に向けた取組について

その①　予約期間の厳格化で、共同購入のメリットの発揮

令和６年産米肥料農薬申込期日は令和６年１月15日までとなります。
令和６年１月15日以降にお申込み頂いた場合は当用価格となります。

【肥料農薬引取価格について】
土づくり肥料及び育苗培土　→ 1 袋につき 20 円引き
　注 1) フレコン規格は 20kg換算します。
肥料 (15kg・20kg)　　→ 1 袋につき 30 円引き
農薬 (通常規格)　　→ 1 個につき 15 円引き
農薬 (10kg以上・2L 以上) → 1 個につき 30 円引き
　注 2) 超大型規格は対象外です。

【代金決済】
令和６年９月末（予定）

	令和５年					令和６年					
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
生産者		水稲土づくり資材 早期予約申込期間		水稲生産資材 予約申込期間								
ＪＡ				水稲土づくり資材早期配達			水稲生産資材予約商品配達 培土/肥料/除草剤/箱施用剤/種子					

その②　超大型規格農薬によるコスト抑制と商品紹介　4ha規格



申込書提出先：JA グリーン近江

（別紙様式1-2）

令和６年産「みずかがみ」遵守事項確認書

令和　　年　　月　　日

近江米振興協会長　様
（ 種子取扱業者経由 ）

申請者
電話番号
住　　所
氏　　名　　印
（本人自署の場合は押印不要）

令和６年度において、「みずかがみ」を栽培したいので、令和６年産「みずかがみ」生産ガイドライン第３の２に基づき、誓約事項のすべてを誓約の上、下記のとおり申し込みます。

記

「みずかがみ」の栽培予定面積

栽培予定面積（a）

○誓約事項
チェック欄（記載内容を確認し、誓約する場合には、チェック欄に☑を記入すること）

□ 1. 栽培申込みのあった者の種子需要量の合計が、種子の確保量を超えた場合には、近江米振興協会が行う、生産者および栽培面積の調整に応じます。
□ 2. 作付けにあたっては、環境こだわり農産物の認証申請に先立つ書類（生産者・ほ場一覧表およびほ場位置図）を提出します。
□ 3. 県が作成する栽培基準に沿って栽培します。
□ 4. 全量種子更新し、自家採種は行いません。
□ 5. 種子を第三者に譲渡しません。
□ 6. 出荷にあたっては、1.85mm以上の網目で調製します。
□ 7. 出荷にあたっては、農産物検査を受検します。
□ 8. 飼料用米やWCS用稲として栽培しません。
□ 9. 栽培ほ場には、ほ場看板等を設置します。

以上

（注）※１　令和２年12月の種苗法の一部改正により、法律によっても自家採種は禁止されます。
※２　個人情報の取扱い（利用目的）
この確認書で知り得た情報は、上記実施要領に基づく確認のために利用するもので、他の目的には使用しません。
この確認書は、種子取扱業者経由で近江米振興協会へ提出します。
※３　申込みには誓約事項のチェック欄のすべてにチェックする必要があります。誓約事項９は任意ですが、できる限りお願いします。

令和６年産「みずかがみ」　作付予定ほ場一覧表

令和　　年　　月　　日

（☆　滋賀県の環境こだわり農産物認証申請を行うため、必ずほ場をご記入頂きますようお願い致します。）

No.	圃　場　所　在　地	面　積（a）	備　　考
1	町小字　　番地	a	
2	町小字　　番地	a	
3	町小字　　番地	a	
4	町小字　　番地	a	
5	町小字　　番地	a	
6	町小字　　番地	a	
7	町小字　　番地	a	
8	町小字　　番地	a	
9	町小字　　番地	a	
10	町小字　　番地	a	
11	町小字　　番地	a	
12	町小字　　番地	a	
13	町小字　　番地	a	
14	町小字　　番地	a	
15	町小字　　番地	a	
16	町小字　　番地	a	
17	町小字　　番地	a	
18	町小字　　番地	a	
19	町小字　　番地	a	
20	町小字　　番地	a	
	合　　計	a	

（注）必ず、共済細目書の作付面積をご記入ください！

住所		取引先コード	—
氏名		TEL	（　　）　　—

令和６年産「特別栽培米」 作付予定ほ場一覧表

令和　　年　　月　　日

（☆　滋賀県の環境こだわり農産物認証申請を行うため、必ずほ場をご記入頂きますようお願い致します。）

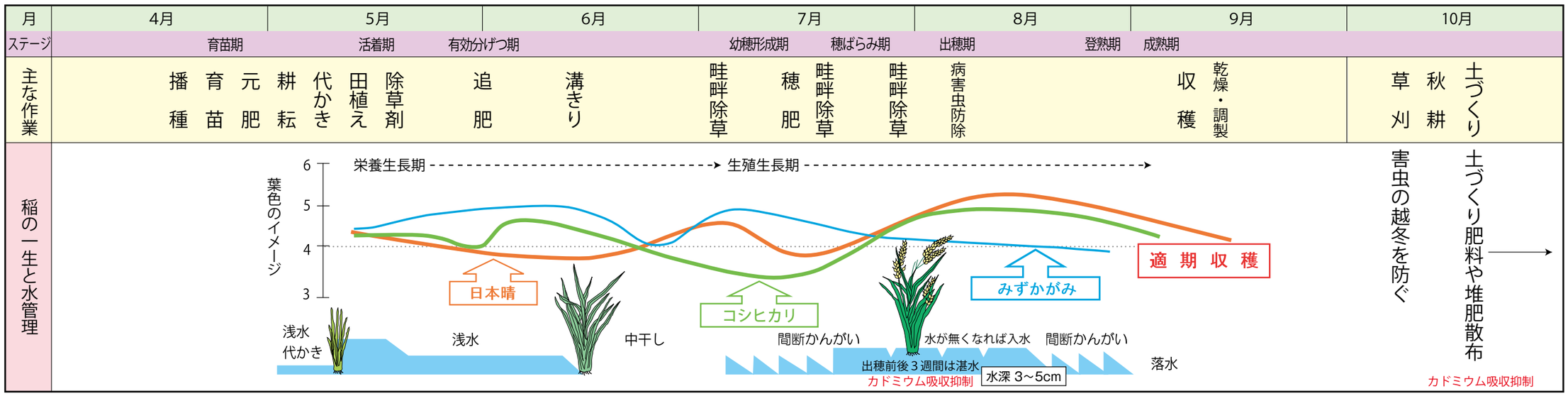
No.	圃　場　所　在　地	面　積（a）	作　付　品　種
1	町小字　　番地	a	
2	町小字　　番地	a	
3	町小字　　番地	a	
4	町小字　　番地	a	
5	町小字　　番地	a	
6	町小字　　番地	a	
7	町小字　　番地	a	
8	町小字　　番地	a	
9	町小字　　番地	a	
10	町小字　　番地	a	
11	町小字　　番地	a	
12	町小字　　番地	a	
13	町小字　　番地	a	
14	町小字　　番地	a	
15	町小字　　番地	a	
16	町小字　　番地	a	
17	町小字　　番地	a	
18	町小字　　番地	a	
19	町小字　　番地	a	
20	町小字　　番地	a	
	合　　計	a	

（注）必ず、共済細目書の作付面積をご記入ください！

※データ（Excel）が必要な方は、JAグリーン近江ホームページ内（https://www.jagreenohmi.jas.or.jp/）にアップしていますので、ご利用ください。

水稲栽培ごよみ

JAグリーン近江（監修：東近江農業農村振興事務所農産普及課）



①落水時期は、収穫に支障のない限りできるだけ遅くしてください。 ②各品種とも、各茎で３枚以上生葉での確保を目標にしてください。 ③出穂３週間前から畦畔雑草の刈り取りを徹底し、カメムシ予防につとめてください。

◆作業スケジュール（下記スケジュールは、気温により前後いたしますので目安としてご利用ください）

品種		播種	田植	追肥	中干し		穂肥①			穂肥②	出穂期		収穫期		備考
		月 日	月 日	月 日	月 日	中干し開始(60株植)	月 日	幼穂	葉色板色	月 日	月 日	葉色板色	月 日	稈長	
5月上旬植	みずかがみ	4月15日	5月 5日	―	6月10日	16～17本／株	6月27日	1mm	3.5	―	7月22日	5.0	8月24日	84cm	早期に分げつを確保するため、５月上旬植を励行する。(平地では60株/坪植)。
	ゆめおうみ			6月20日	6月中旬～	17本～18本／株	7月 9日		4.0	7月16日	8月 3日	5.5	9月 6日	73cm	早植え多肥栽培や早期落水により腹白、死米が発生するので注意。
	日本晴						7月15日			7月22日	8月 9日		9月13日	83cm	秋落ち水田では、ごま葉枯病や穂枯れが出やすいので土づくりを徹底する。
	秋の詩						7月25日	8～10mm	3.5	8月 1日	8月12日		9月16日	94cm	いもち病に弱く、倒伏しやすいので肥沃地では施肥量、施肥時期に注意。
	滋賀羽二重糯			６月25日～	6月中旬～	16本～17本／株	7月26日	8～10mm	3.5	8月 2日	8月13日	5.0	9月21日	103cm	倒伏しやすく、いもち病に弱い。漏生もみによる混種に注意。
5月中旬植	コシヒカリ	4月28日	5月15日	6月10日	6月中旬～	17本～18本／株	7月10日	8～10mm	3.5	7月17日	7月28日	5.0	8月31日	95cm	いもち病に弱く、倒伏しやすいので、穂肥の時期と施用量に注意。
	キヌヒカリ						7月 4日	1mm	4.0	7月11日	7月29日	5.5	9月 1日	83cm	穂発芽しやすいので高温多湿時には刈り遅れに注意。乳白・心白が出やすいので注意。

注意 :1. 穂肥施用後、葉色が徐々に濃くなるよう穂肥②で加減してください（出穂期に上表の葉色数値が上限です） 2. 中苗植えの場合は幼穂形成期・出穂期が２～３日早くなります。収穫時期もその分早くなりますので刈り遅れないようにしてください。

◆育苗（稚苗）作業スケジュール

※（下記スケジュールは、気温により前後いたしますので目安としてご利用ください）

育苗の手順		種子消毒	風乾	浸種	催芽	播種	出芽	緑化	硬化	田植
			温湯消毒後はそのまま冷水で浸種するか、冷却後十分乾燥する（薬剤消毒では風乾後に浸種する）	浸種の水は2日毎に交換して下さい。１日の平均気温の積算が100℃（薬剤消毒のときは流水に漬けない）。	30～32℃ 32℃を超えないように。	薄まきし、健苗をつくる。稚苗：160 g	出芽器の温度は 30 ～ 32 ℃として、鞘葉が 1 cm 位出た頃に緑化へ移す。	天候により健苗シートの管理に十分注意して下さい。葉身が緑になるまで強い日光や低温にあてない（昼 25℃、夜 18℃）	晴天日の日中は換気を十分行う（昼間 20℃、夜間 15℃）	
	5／5日植	4／2	4／2～5	4／5～12	4／12～14	4／14	4／14～17	4／17～20	4／20～	5／5
	5／15日植	4／15	4／15～18	4／18～25	4／25～27	4／27	4／27～4／30	4／30～5／3	5／3～	5／15

※毎年必ず種子更新しましょう ※薬剤消毒の場合は、同じ薬液を3回以上使用しないで下さい(効果が極端に減少します)

水稲種子は、浸種中および催芽期に低温（10℃以下）にあたると出芽が著しく悪くなります。育苗器を使用しない出芽方式では、気象条件によって苗の出芽不良を生じる場合があるので、温度管理と水管理に十分ご注意ください。

令和6年産米 滋賀県版GAP

各項目のチェック欄に、正確に取り組まれた項目は○、一部取り組まれた項目は△、出来ていない項目は×、該当しない場合は－を記入してください。

団体名		住　所	
氏　名		電話番号	

目　的	番号	点検項目	チェック
ほ場における環境衛生管理	1	周辺の廃棄物や有害物質等から、ほ場や用水への汚染がないか確認する。	
農薬の安全・適正使用	2	農薬を使用する前に、登録農薬であるか確認する。（農林水産省の登録番号を確認するなど）	
	3	ラベルに記載されている最終有効年月を過ぎた農薬を使用しない。	
	4	農薬は、適用作物名や希釈倍数、使用時期、注意事項等ラベルに記載されている使用方法を守って使う。	
	5	防除器具の使用にあたり、事前にノズル等を点検する。	
	6	防除器具の使用にあたり、タンク、ホース、ノズル等が十分に洗浄されているか確認する。	
	7	使用後は、タンク、ホース、ノズル等を十分に洗浄する。	
	8	農薬を散布しようとするほ場周辺の栽培作物を確認し、必要に応じて、飛散が少ない形状の農薬、散布方法、散布器具等を選択する。	
農薬、燃料等の保管管理	9	農薬や肥料、燃料は、専用の保管場所で農産物や他の資材等と接触しないように保管する。特に、劇薬物については、容器・貯蔵場所等へ表示する。	
異品種混入の回避	10	種子を更新し、異品種の混入を回避する。	
農産物の衛生的な取扱	11	作業（収穫・乾燥・調製）しながら喫煙や飲食をしない。（休憩時間に喫煙、飲食をする等）	
	12	作業（収穫・乾燥・調製）時に機械のネジや金属片、装飾品等が混入しないよう対策を実施する。	
農産物の品質向上	13	出穂前後各３週間の湛水管理と土づくり資材の施用等のカドミウム吸収抑制対策を実施する。	
	14	適期を逃さずに刈り取る。	
	15	収穫後の籾（もしくは粒）を長時間放置せず、速やかに通風乾燥するか、乾燥施設に搬入する。	
農産物の品質向上	16	乾燥・調製作業の開始前に、各設備の整備・点検を行う。	
	17	乾燥・調製作業は、適正な温度管理、水分管理のもと行う。	
	18	倒伏や病害虫による被害籾、高水分籾（もしくは被害粒、高水分粒）は仕分けして、乾燥・調製等作業を行う。	
	19	種子袋や育苗箱に品種名を明記し、品種の切り替えは、取り違い・他品種の種子が混入しないようにする。	
	20	田植えにおける品種の切り替えは、取り違いがないよう苗箱の品種を確認する。	
	21	作業（収穫・乾燥・調製）時における品種や作物の切り替えは、事前にコンバイン・乾燥機等の清掃を徹底する。	
農薬による環境負荷の低減	22	散布面積や作物の生育状況、ラベルの記載内容を確認し、散布に必要な量だけを調製する。	
	23	農薬散布後１週間は落水、かけ流しをしない。	
	24	斑点米カメムシ類対策として、出穂２～３週間前と出穂期に畦畔除草を行う。	
	25	病害虫の発生源となる雑草や補植用余剰苗を除去する。	
	26	抵抗性品種や輪作体系等を導入する。	
	27	発生予察情報やほ場、その周辺における病害虫の発生状況を確認した上で防除する。	
	28	温湯消毒、生物農薬の使用等、化学合成農薬を使わない防除を実施する。	
	29	農薬を散布する前に、近隣農家・住民に周知する。	

目　的	番号	点検項目	チェック
肥料による環境負荷の低減	30	土壌診断結果や施肥基準に基づく施肥を行う。	
	31	たい肥を施用する場合は、外来雑草種子等の殺滅のため、適切にたい肥化されたものを施用する。	
琵琶湖の水質保全	32	（畦畔等からの漏水防止対策）あぜ塗り、畦畔の補修、畦畔シートの設置等を行う。	
琵琶湖の水質保全	33	（浅水代かき）水田ハローやロータリによる浅水代かきを実施する。	
	34	（田植え前の水管理）田植え前の強制落水を行わない。	
	35	代かき～田植え後は、こまめに排水口や畦畔からの漏水がないことを確認する。	
健全な土壌の確保	36	県が定める環境こだわり農産物栽培基準「たい肥その他の有機質資材の施用基準」に基づき、たい肥等の有機物を施用する。	
	37	降雨や強風によって土壌が浸食を受け作土層が失われていくおそれがある場合には、土壌の浸食を軽減する対策を実施する。水田の場合は、用水路の管理や、畦畔崩壊防止対策も実施する。	
廃棄物の適正な処理	38	農薬、肥料等の空容器や空袋、使用済みハウスビニール、期限切れ農薬等は、廃棄物処理業者への委託等により、適切に処理し、不適切な焼却は行わない。	
エネルギーの節減	39	エンジンオイルやベルト、チェーン、タイヤの空気圧等農業機械の定期的な点検や整備を実施する。	
	40	農業機械は、必要以上に高いエンジン回転で作業せず、負荷の状態に合った適正なエンジン回転で作業する。	
温室効果ガス（メタン）の抑制	41	中干しを適期（茎数が目標穂数の８割になった時）に実施する（期間は７～ 10 日間）。	
琵琶湖等への環境保全意識の高揚	42	県が推進する環境こだわり農業に取り組む等、環境と調和のとれた農業を実践する。	
総合的な鳥獣被害対策	43	放任果樹の除去や柵の設置等、鳥獣を引き寄せない取組を行う。	
作業者の健康管理と事故防止	44	体調が悪い時や酒気を帯びている時は、農作業に従事しない。	
安全な作業環境の確保	45	農薬散布、機械作業、施設の補修等、安全に作業を行うための適切な服装やマスク等の保護具を着用する。	
	46	農薬散布で着用した保護具は、洗浄し、他のものとは別に保管する。	
	47	農作業事故につながる恐れのある危険な箇所を把握し、危険箇所の表示やほ場の出入口の傾斜を緩くする等、作業環境を改善する。	
農業機械等を導入・使用する際の安全確認	48	農業機械、器具の始業前点検や使用後の整備等、取扱説明書に基づき、適切な保守点検の実施に努める。	
農業機械等の安全な利用	49	農業機械の機能、使用上の注意事項、使用時の危険回避方法等、取扱説明書をよく理解した上で操作する。	
農作業事故に対する備え	50	農業生産活動の維持・持続に向けた保険に加入する。	
農業現場における知的財産の適切な取扱	51	特許技術は、適切な手続きを経て活用する。	
新品種育成者の権利保護	52	登録品種の種苗は、適切な手続きを経て利用する。	
情報の記録・保管	53	ほ場の位置、面積等に係る記録を作成し、保存する。	
	54	農薬、肥料の使用状況や播種、定植、収穫の作業実施日等、農業生産活動に関する情報を記録し、保存する。	
	55	農薬や肥料、種子、苗等の購入伝票、保証書を保存する。	
	56	品名や出荷日、出荷量等、取引に関する内容を記録し、保存する（保存３年）	
特定の米穀についての保管・処理	57	加工用米や新規需要米等は、明確に区分管理する。	
	58	販売時は、包装等に用途を表示したり、定められた用途に使用されるよう契約書に記載する等の転用防止対策を実施する。	
	59	かびの付着や残留農薬等基準値を超過した米は、明確に区分管理し、廃棄等により、適切に処置する。	

令和６年産米の栽培記録

●栽培管理日誌の控えとしてお使い下さい●

JA グリーン近江

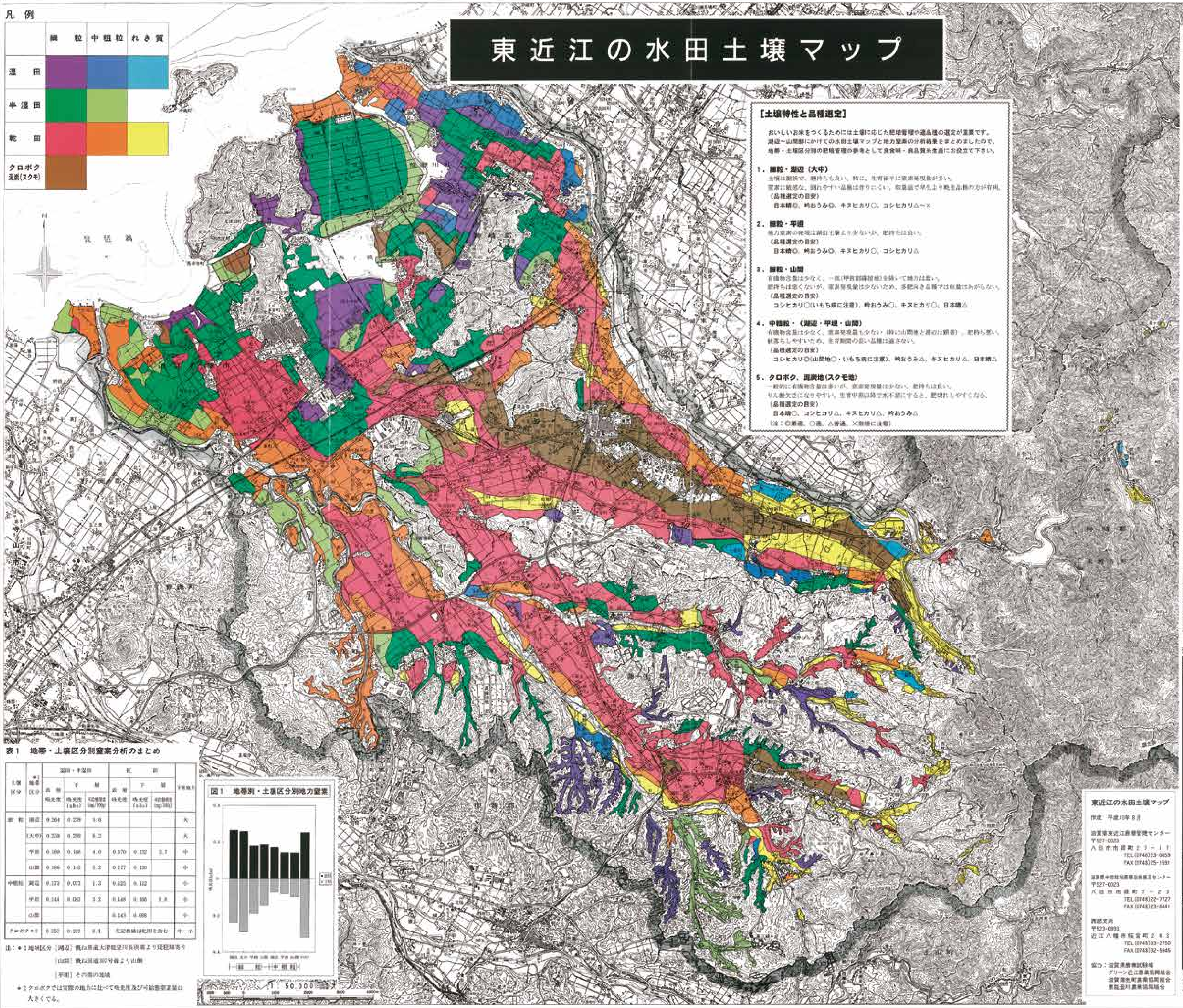
品種	面積	土づくり	種子消毒	播種	元肥	田植	除草剤	追肥	溝切り	中干し	穂肥１回目	穂肥２回目	出穂期	病害虫防除①	病害虫防除②	収穫
		月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日
		肥料	農薬	育苗培土	肥料	植付株数 農薬	農薬	肥料		～	肥料	肥料		農薬	農薬	
		kg /10a	倍×　時間	箱 /10a	kg /10a	株 / 坪 kg /10a	/10a	kg /10a			kg /10a	kg /10a		/10a	/10a	
品種	面積	土づくり	種子消毒	播種	元肥	田植	除草剤	追肥	溝切り	中干し	穂肥１回目	穂肥２回目	出穂期	病害虫防除①	病害虫防除②	収穫
		月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日
		肥料	農薬	育苗培土	肥料	植付株数 農薬	農薬	肥料		～	肥料	肥料		農薬	農薬	
		kg /10a	倍×　時間	箱 /10a	kg /10a	株 / 坪 kg /10a	/10a	kg /10a			kg /10a	kg /10a		/10a	/10a	
品種	面積	土づくり	種子消毒	播種	元肥	田植	除草剤	追肥	溝切り	中干し	穂肥１回目	穂肥２回目	出穂期	病害虫防除①	病害虫防除②	収穫
		月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日
		肥料	農薬	育苗培土	肥料	植付株数 農薬	農薬	肥料		～	肥料	肥料		農薬	農薬	
		kg /10a	倍×　時間	箱 /10a	kg /10a	株 / 坪 kg /10a	/10a	kg /10a			kg /10a	kg /10a		/10a	/10a	
品種	面積	土づくり	種子消毒	播種	元肥	田植	除草剤	追肥	溝切り	中干し	穂肥１回目	穂肥２回目	出穂期	病害虫防除①	病害虫防除②	収穫
		月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日
		肥料	農薬	育苗培土	肥料	植付株数 農薬	農薬	肥料		～	肥料	肥料		農薬	農薬	
		kg /10a	倍×　時間	箱 /10a	kg /10a	株 / 坪 kg /10a	/10a	kg /10a			kg /10a	kg /10a		/10a	/10a	
品種	面積	土づくり	種子消毒	播種	元肥	田植	除草剤	追肥	溝切り	中干し	穂肥１回目	穂肥２回目	出穂期	病害虫防除①	病害虫防除②	収穫
		月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日
		肥料	農薬	育苗培土	肥料	植付株数 農薬	農薬	肥料		～	肥料	肥料		農薬	農薬	
		kg /10a	倍×　時間	箱 /10a	kg /10a	株 / 坪 kg /10a	/10a	kg /10a			kg /10a	kg /10a		/10a	/10a	
品種	面積	土づくり	種子消毒	播種	元肥	田植	除草剤	追肥	溝切り	中干し	穂肥１回目	穂肥２回目	出穂期	病害虫防除①	病害虫防除②	収穫
		月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日
		肥料	農薬	育苗培土	肥料	植付株数 農薬	農薬	肥料		～	肥料	肥料		農薬	農薬	
		kg /10a	倍×　時間	箱 /10a	kg /10a	株 / 坪 kg /10a	/10a	kg /10a			kg /10a	kg /10a		/10a	/10a	

※データ（Excel）が必要な方は、JA グリーン近江ホームページ内（https://www.jagreenohmi.jas.or.jp/）にアップしていますので、ご利用ください。

東近江の水田土壌マップ

凡例

	細粒	中粗粒	れき質
湿田			
半湿田			
乾田			
クロボク 泥炭(スクモ)			



【土壌特性と品種選定】

おいしいお米をつくるためには土壌に応じた肥培管理や適品種の選定が重要です。
湖辺～山間部にかけての水田土壌マップと地力窒素の分析結果をまとめましたので、
地帯・土壌区分別の肥培管理の参考として良食味・良品質米生産にお役立て下さい。

1．細粒・湖辺（大中）
土壌は肥沃で、肥持ちも良い。特に、生育後半に窒素発現量が多い。
窒素に敏感な、倒れやすい品種は作りにくい。倒伏面で早生より晩生品種の方が有利。
（品種選定の目安）
日本晴◎、吟おうみ◎、キヌヒカリ○、コシヒカリ△～×

2．細粒・平坦
地力窒素の発現は湖辺土壌より少ないが、肥持ちは良い。
（品種選定の目安）
日本晴○、吟おうみ◎、キヌヒカリ○、コシヒカリ△

3．細粒・山間
有機物含量は少なく、一部（甲賀郡鋳物師）を除いて地力は低い。
肥持ちは悪くないが、窒素発現量は少ないため、多肥向き品種では収量はあがらない。
（品種選定の目安）
コシヒカリ○（いもち病に注意）、吟おうみ○、キヌヒカリ○、日本晴△

4．中粗粒・（湖辺・平坦・山間）
有機物含量は少なく、窒素発現量も少ない（特に山間地と湖辺は顕著）。肥持ち悪い。
秋落ちしやすいため、生育期間の長い品種は適さない。
（品種選定の目安）
コシヒカリ◎（山間地○・いもち病に注意）、吟おうみ△、キヌヒカリ△、日本晴△

5．クロボク、泥炭地（スクモ地）
一般的に有機物含量は多いが、窒素発現量は少ない。肥持ちは良い。
りん酸欠乏になりやすい。生育中期以降で水不足にすると、肥切れしやすくなる。
（品種選定の目安）
日本晴○、コシヒカリ△、キヌヒカリ△、吟おうみ△
（注：◎最適、○適、△普通、×栽培に注意）

表1 地帯・土壌区分別窒素分析のまとめ

土壌区分	*1 地帯区分	湿田・半湿田 表層 吸光度	湿田・半湿田 下層 吸光度 (abs)	湿田・半湿田 下層 可給態窒素 (mg/100g)	乾田 表層 吸光度	乾田 下層 吸光度 (abs)	乾田 下層 可給態窒素 (mg/100g)	窒素地力
細粒	湖辺	0.264	0.239	5.6				大
	(大中)	0.258	0.280	8.2				大
	平坦	0.169	0.166	4.0	0.170	0.132	2.7	中
	山間	0.166	0.141	5.2	0.177	0.130		中
中粗粒	湖辺	0.173	0.073	1.3	0.125	0.112		小
	平坦	0.144	0.083	3.2	0.148	0.166	1.8	小
	山間				0.143	0.088		小
クロボク*2		0.252	0.229	6.1	左記数値は乾田を含む			中～小

注：*1地帯区分 ［湖辺］県道大津能登川長浜線より琵琶湖寄り
［山間］国道307号線より山側
［平坦］その間の地域
*2クロボクでは湿田の地力に比べて吸光度及び可給態窒素量は大きくでる。

図1 地帯別・土壌区分別地力窒素

1：50,000

表2 地帯・土壌区分別窒素分析数値

[illegible]

表3 地帯・土壌区分別窒素分析数値

[illegible]

東近江の水田土壌マップ
作成 平成10年8月
滋賀県東近江農業管理センター
〒527-0023
八日市市緑町２１－１１
TEL(0748)23-0859
FAX(0748)25-1597
滋賀県中部地域農業改良普及センター
〒527-0023
八日市市緑町７－２３
TEL(0748)22-7727
FAX(0748)23-4481
西部支所
〒523-0893
近江八幡市桜宮町２４３
TEL(0748)33-2750
FAX(0748)32-5945
協力：滋賀県農業試験場
グリーン近江農業協同組合
滋賀蒲生町農業協同組合
東能登川農業協同組合

この地図は、建設省国土地理院長の承認を得て同院発行の5万分の1地形図を複製したものである。（承認番号）平10近複，第 197号

（株）グリーンサポート楽農　作業紹介

令和５年４月現在

反転プラウ



プラウによる深耕は作物栽培における土作りに有効で、定期的に行うことで土の活力を高める効果が期待できます。

作業可能時期
４月～８月中旬
10月下旬～３月下旬

単位	料金（円）税別	
	１区画 30a以上	１区画 30a未満
10a	4,500	6,500

サブソイラー



水田にサブソイラーによる弾丸暗渠を施工すると排水性が高まります。
50a未満は要相談

作業可能時期
４月～８月中旬
10月下旬～３月下旬

単位	料金（円）税別
	１区画 30a以上
10a	3,000

ロータリー耕転



各種作物におけるロータリー作業により畑作物等の下処理を行い水稲、麦、大豆、野菜等の生産を支援いたします。

作業可能時期
４月～８月中旬
10月下旬～３月下旬

単位	料金（円）税別	
	１区画 30a以上	１区画 30a未満
10a／耕転1回	7,400	10,500
10a／耕転2回	10,000	15,000

田植作業



田植え、施肥、除草剤、防除剤同時作業で水稲作の取り組み支援を行います。

作業可能時期
４月～６月上旬

単位	料金（円）税別	
	１区画 10a以上	悪条件
農家出役あり /10a	7,500	18,000
農家出役なし /10a	15,000	25,500

ドローン航空防除作業



対象作物	散布量/単位	料金（円）税別 1受託作業10ha以上	料金（円）税別 1受託作業 10ha未満	備考
田・畑	0.8L以下 /10a	1,500	1,600	3ha未満の作業は要相談。依頼主の作業立会必須（2名以上）
	1.6L以下 /10a	2,500		依頼主の作業立会必須 1ha未満の作業は要相談
	1.7L以上 /10a	3,500		依頼主の作業立会必須 1ha未満の作業は要相談

麦・水稲収穫



作業可能時期
6月中旬～10月下旬

単位/麦	料金（円）税別
概ね1ha以上のまとまり/10a	10,500
10a	13,500

単位/水稲	料金（円）税別
概ね1ha以上のまとまり/10a	12,000
10a	15,000

玉葱ピッカー作業



※ピッカー作業の前には葉切りと掘り起こし作業が必要になります。
生産者様におかれては補助的な作業（鉄コンテナの用意選別、石取りなど）お願いします。

作業可能時期　６月中旬～７月中旬

区分	作業名	対象作物	単位	料金(円)税別	備考
事業 玉ねぎ	玉ねぎ移植作業	玉ねぎ	10a	15,000	10a以上の作業から
	玉ねぎピッカー作業		10a	30,000	玉ねぎを拾う作業（オペレータ2名が作業します）
	コンテナ納品作業		1コンテナ	1,500	指定場所まで納品する

人参収穫作業



作業可能時期
6月中旬～12月下旬

単位	料金(円)税別	備考
1a	3,500	オペレーター作業のみ（燃料利用者負担）1日3a以上の作業

○30a以下の作業につきましては、営農振興課までご相談ください。
○料金は税抜単価です。



お問い合せ・ご相談は

部署	TEL	FAX
近江八幡		
近江八幡営農振興センター	33-6705	33-6715
ジェネット八幡	33-6300	33-6307
大中の湖営農振興センター	46-3100	46-3168
ジェネット大中の湖	46-8003	46-3315
東近江		
東近江中央営農振興センター ジェネット東近江	22-6620	22-6622
南部配送センター（営農）	27-1201	27-0977
東近江湖辺営農振興センター	42-2133	42-8155
日野		
日野営農振興センター ジェネット日野	52-2212	53-0987
竜王		
竜王営農振興センター ジェネット竜王	58-3767	58-2705

八幡駅前事業所

経済事業部	経済課	33-8427
営農事業部	営農振興課	33-8453
	農産販売促進課	33-8452
	施設管理課	33-8458
	特産課	33-8454
	きてかーな	32-0111